

Pioneer

安全のために必ずお守りください

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

内蔵DVD

ラジオ

USB

iPod

マルチCD (別売)

音の調節

音の調節 (別売DSP)

DVD設定

初期設定

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

その他 (付録)

DVH-P560

DVD-V/VCD/CD/USB/ チューナー・
WMA/MP3/AAC/DivX /JPEG 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



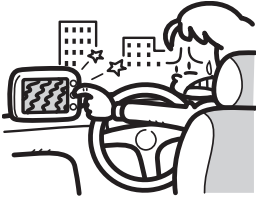
このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

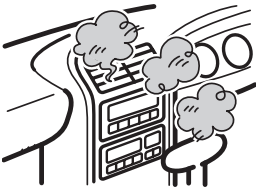
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

安全のために必ずお守りください

絵表示について	2
安全上のご注意	3

はじめに

本書のみかた	8
本機の特徴	8
ご使用になる前に	9
リモコンの準備	10
各部のなまえ	12

ここだけ読めばすぐ使えます

基本的な操作	16
--------	----

電源 ON・OFF
ソース切り換え
音量調節

内蔵DVDのふだんの操作	17
--------------	----

ディスクをセットする
ディスクを再生する
タイトル・フォルダーを選ぶ
チャプター・ファイル・トラックを選ぶ
早送り・早戻し
ディスクを取り出す

ラジオのふだんの操作	18
------------	----

バンドを選ぶ
選局

USB機器のふだんの操作	19
--------------	----

USB 機器の曲を再生する
フォルダーを選ぶ
曲を選ぶ
早送り・早戻し

iPodのふだんの操作	20
-------------	----

iPod の曲を再生する
曲を選ぶ
早送り・早戻し

よく使う機能をボタンですぐに

操作する	21
------	----

内蔵DVD

リモコンの基本操作	22
メニュー画面の操作	22
PBCメニュー画面の操作	23
DivX VODファイルを再生する	23
お気に入りの場面を登録する	23
タイトル（トラック）を指定する	24
チャプター（トラック）を 直接指定する	24
コマ送り再生をする	25
スロー再生をする	25
再生中に音声言語を切り換える	25
再生中に字幕言語を切り換える	26
再生中にアングルを切り換える	26
指定された場面に戻る	27
オートプレイを設定する	27
タイトルを見て再生したい タイトル／トラック／フォルダー ／ファイルを探す	27
ファンクションメニューの 切り換えかた	28
繰り返し再生する	28
音声の出力方法を切り換える	29
違う順序で再生する	30
曲／フォルダーを探す	30
再生を一時停止する	31
JPEG画像を回転表示する	31
音を補正して高音質化する	32
再生モードを切り換える	32
情報画面／タイトル画面を表示する	33

ラジオ

放送局を1局ずつ登録する	34
登録した放送局を呼び出す	34
複数の放送局を自動的に登録する	34

USB

曲やファイルを直接選ぶ	36
タイトルを見て再生したい ファイルやフォルダーを探す	36
ファンクションメニューの 切り換えかた	37
繰り返し再生する	37
違う順序で再生する	38
曲を探す	38
再生を一時停止する	39
音を補正して高音質化する	39
JPEG画像を回転表示する	40
ソース情報画面／タイトル画面を 表示する	40

iPod

チャプターを選ぶ	42
聞きたい曲などを探す	42
曲などをアルファベットで検索する	42
ファンクションメニューの 切り換えかた	43
同じ曲・ビデオやリストを 繰り返し再生する	44
いつもと違う順序で再生する	44
すべての曲をシャッフルしてから 再生する	45
再生中の曲にリンクした曲を 再生する	45
iPodで選曲して、本機から再生する	45
再生を一時停止する	46
オーディオブックの再生速度を 変更する	46
音を補正して高音質化する	47
ワイド画面を設定する	47
ソース情報画面／タイトル画面を 表示する	48

マルチCD (別売)

マルチCDのふだんの操作	49
ファンクションメニューの 切り換えかた	49
繰り返し再生する	50
違う曲順で再生する	50
曲やディスクを探す	51
再生を一時停止する	51
音を聞きやすくする	52
聞きたい曲を指定する	52
指定した曲だけ再生する	53
曲の指定を1曲ずつ解除する	53
曲の指定をCDごとに解除する	54
タイトルやアーティスト名を 表示する	54

音の調節

オーディオメニューの切り換えかた	55
前後左右の音量バランスを調節する	55
イコライザーカーブを選ぶ	56
イコライザーカーブを調節する	56
小さな音量でも聞きやすくする	57
各ソースの音量をそろえる	57

目次

音の調節 (別売DSP)

オーディオ調節のポイント	58
オーディオ調節メニューの切り換えかた	58
前後左右の音量バランスを調節する	59
リスニングポジションを選ぶ	59
ドルビープロロジックIIを使う	59
ミュージックモードを調節する	60
SFCで音場を再現する	61
ダウンミックス機能を使う	61
ダイナミックレンジコントロールを使う	62
オリジナルの音質で聞く	62
各ソースの音量の違いをそろえる	62
オートイコライザーをON / OFFする	63
オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に	63
オートタイムアライメント&イコライジングを行う	64
接続したスピーカーの設定をする	65
サブウーファースの位相を切り換える	66
クロスオーバー周波数を設定する	67
スピーカーレベルを調節する	67
テストトーンでスピーカーレベルを調節する	68
タイムアライメントを選ぶ	68
タイムアライメントを調節する	69
イコライザーカーブを選ぶ	70
3バンドパラメトリックイコライザーを調節する	70

DVD設定

DVD設定メニューの切り換えかた	72
基本字幕を設定する	73
基本音声を設定する	73
メニュー言語を設定する	74
OSDの言語を設定する	74
文字の種類を設定する	74
マルチアングルマーク表示を設定する	75
画面の縦横比を設定する	75
スライドショーの表示時間を設定する	75
視聴制限を設定する	76
DivXのカスタム字幕ファイルを表示する	77
デジタル出力の設定をする	78
DivX VODの登録コードを確認する	78
ダウンサンプリング周波数を設定する	78

初期設定

初期設定メニューの切り換えかた	79
時計を合わせる	79
外部機器 (AUX) をソースに設定する	80
ミュート / アッテネートを切り換える	81
ボタンのイルミネーションの色を切り換える	82
スクロールの設定を切り換える	82
モニターの有無を設定する	83
音の歪みを補正する	83
オーディオ設定をリセットする	84

便利な機能

瞬時に音を消す	85
時計を表示する	85
よく使う機能を直接操作する	85
交通情報を受信する	85
ナビゲーションの音声を本機で 再生する	86
エクスターナルユニットを使う	86

保証書とアフターサービス	113
商標・著作権など	113
用語解説	114
おもな仕様	117

取り付けの準備

接続・取り付け部品を確認する	88
取り付けの前に知ってほしいこと	88
接続の前に知ってほしいこと	89

接続・取り付けと動作確認

電源コードを接続する	90
「DEQ-P9」＋「AVIC-HRV110G」と 組み合わせる	92
別売アンプを使って リアスピーカーを接続する	94
RCA映像出力の接続	95
本体を取り付ける	96
動作を確認する	97

その他（付録）

再生できるディスクについて	98
本機で再生できるファイルについて	99
再生可能な圧縮ファイルについて	100
ディスク上の圧縮ファイルに ついて	102
USB機器について	103
iPodについて	104
使用上の注意	104
言語コード	106
故障かな？と思ったら	107
こんなメッセージが表示されたら	110

本書のみかた

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。内蔵 DVD やラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外のリモコンや便利な機能については、「内蔵 DVD」や「USB」、「音の調節」など、それぞれの項目をお読みください。

リモコンでの操作 **[DVD]** **[DVH]**

このマークのある項目ではリモコンでの操作を説明しています。「[DVD]」、「[DVH]」はリモコンで設定する操作モードを示しています (→「リモコンの準備」10 ページ)。

本機の特徴

DVD ビデオ再生対応

本機は DVD ビデオの再生に対応しています。市販の DVD ビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で録画された DVD-R / RW や「1 回だけ録画可能」や「ダビング 10」の番組が録画された DVD-R / DVD-RW (CPRM 対応) の再生にも対応しています。

ビデオ CD の PBC 対応

PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオ CD の再生に対応しています。

CD 再生対応

音楽 CD の再生に対応しています。また音楽 CD のデータが記録された CD-R / RW の再生に対応しています。

CD TEXT 再生対応

CD TEXT の再生に対応しています。



CD TEXT とは

- CD のタイトルや歌手名などの文字情報が収録されている CD です。ディスクタイトル面に下記のマークの付いている CD は CD TEXT ディスクです。下記マークの付いていない CD TEXT ディスクもあります。



WMA / MP3 / AAC ファイル再生対応

WMA / MP3 / AAC ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW / ROM の再生に対応しています。CD-R / RW / ROM は、ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。また DVD-R / RW / ROM は、UDF1.02 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

DivX® ファイル再生対応

DivX ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW / ROM の再生に対応しています。

ドルビーデジタル対応

当社の 5.1 ch 対応・DSP ユニット「[DEQ-P9]」と組み合わせると、5.1 チャンネルで収録された映画 / 音楽の DVD を臨場感豊かに再現することができます。

USB 機器コントロール対応

ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに USB 機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、USB インターフェイス付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。対応する USB 機器については（➡「USB 機器について」103 ページ、「おもな仕様」116 ページ）

- 本機は、USB Mass Storage Class 対応の USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB メモリーに収録されている WMA / MP3 / AAC ファイルを再生できます。対応する圧縮ファイルについては（➡「再生可能な圧縮ファイルについて」100 ページ）

iPod コントロール対応

本機は、iPod を本機の USB インターフェイスに接続して操作できます。

ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

– 第6世代 iPod nano :	Ver. 1.0
– 第5世代 iPod nano :	Ver. 1.0.1
– 第4世代 iPod nano :	Ver. 1.0.4
– 第3世代 iPod nano :	Ver. 1.1.3
– 第2世代 iPod nano :	Ver. 1.1.3
– 第1世代 iPod nano :	Ver. 1.3.1
– 第4世代 iPod touch :	Ver. 4.1
– 第3世代 iPod touch :	Ver. 3.1.2
– 第2世代 iPod touch :	Ver. 3.1.3
– 第1世代 iPod touch :	Ver. 2.0
– iPod classic 160G :	Ver. 2.0.4
– iPod classic 120G :	Ver. 2.0.1
– iPod classic :	Ver. 1.1.2
– iPod 第5世代 :	Ver. 1.3
– iPhone 4G :	Ver. 4.1
– iPhone 3GS :	Ver. 4.0.1
– iPhone 3G :	Ver. 2.0

- 操作方法は、iPod ソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- 最新の情報については、カロツツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。

- iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル（例：「CD-IU50」）が必要です。
- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

メモ

- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については（➡「iPod について」104 ページ）

Bluetooth アダプター対応

パイオニア製 Bluetooth アダプター（「CD-BTB10」など）の接続に対応しています。Bluetooth アダプターを使って、携帯電話やポータブルオーディオ機器の操作に対応しています。

50 枚型マルチ CD プレーヤーの使用について

本機では、50 枚型マルチ CD プレーヤーの取扱説明書に記載されている 50 枚型マルチ CD プレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、ディスクリストには切り換わりません。

ご使用になる前に

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは（➡「放送局を1局ずつ登録する」34 ページ）、時計調節は（➡「時計を合わせる」79 ページ）を参照して、再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくとをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

別売のモニターを接続したとき

本機に別売のモニターを接続してモニター出力設定(→「モニターの有無を設定する」83ページ)をONすると、DVDビデオなどの映像のほか、操作に関する画面を表示できます。表示や操作の方法は、それぞれのページを参照してください。

情報画面

内蔵DVDを操作しているとき、表示できます。

ソース情報画面

内蔵DVD以外を操作しているとき、「情報画面」の代わりに表示します。

以下のソースのとき、表示できます。

USB
iPod
マルチCD

タイトル画面

以下のソースのとき、表示できます。

内蔵DVD
USB
iPod

リスト画面

以下のソースのとき、表示できます。

内蔵DVD
USB
iPod



メモ

- タイトル画面やリスト画面の文字表示は、スクロールしません。



ソースとは

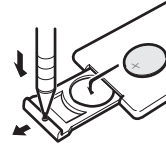
- SRC/OFF ボタンを押すごとに切り換わる、内蔵DVDやラジオなどの音源のことです。(→「基本的な操作」16ページ)

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

初めてお使いになるときは、電池ホルダーから出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池(CR2025)を⊕側を上にしてセットします。



リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、DVHモードの2つの操作モードがあります。



DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

内蔵DVDを操作するとき。

DVDのディスクメニューをサムパッドで操作するとき。

ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき。

DVDのタイトル、ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定するとき。

DVHモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。

ご注意

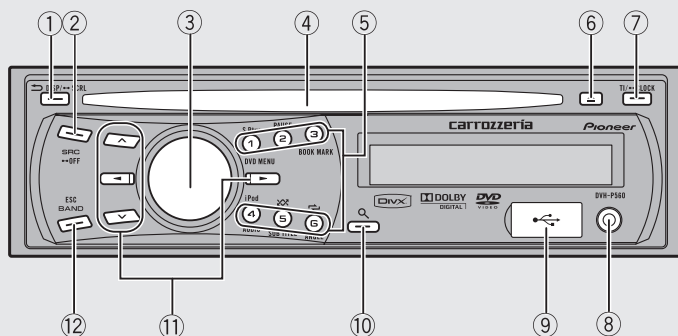
- DVDモードのときは、**DIRECT**ボタンは使えません。
- DVHモードのときは、**■**ボタン、**Ⓢ**ボタンは使えません。

別売のナビゲーションシステムを組み合わせた場合

- 本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションシステムは操作できません。ナビゲーションシステムは本体ボタン、またはナビゲーションシステムに付属のリモコンで操作してください。

各部のなまえ

本体



① ⇄/DISP/SCRL ボタン

② SRC/OFF ボタン

③ ロータリーコマンダー

④ ディスク挿入口

⑤ 1/S.Rtrv/DVD MENU~6/⇄/ANGLE ボタン

⑥ ≡ イジェクトボタン

⑦ TI/CLOCK ボタン

⑧ AUX ジャック

⑨ USB ポート

⑩ 🔍 ボタン

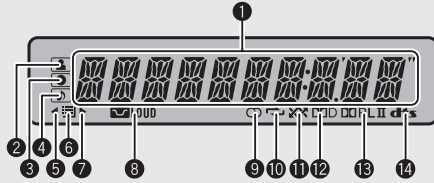
⑪ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン

⑫ BAND/ESC ボタン

メモ

- ⇄/DISP/SCRL ボタンの動作は、モニター出力の設定 (→「モニターの有無を設定する」83 ページ) によって異なります。

ディスプレイ



① メイン表示部

再生経過時間など再生中のメディアの情報(内蔵 DVD や USB)、バンドと周波数(ラジオ)、各種設定内容などを表示します。

② (アーティスト) インジケーター

メイン表示部に、アーティスト名が表示されているときに点灯します。
iPod 再生時は、ブラウズ機能でアーティスト名を表示しているときに点灯します。

③ (アルバム) インジケーター

メイン表示部に、アルバム名が表示されているときに点灯します。
iPod 再生時は、ブラウズ機能でアルバム名を表示しているときに点灯します。

④ (トラック/ソング) インジケーター

メイン表示部に、曲名が表示されているときに点灯します。
本機で再生可能なファイルを表示しているときに点灯します。
iPod 再生時は、ブラウズ機能で曲名を表示しているときに点灯します。

⑤ ◀ インジケーター

フォルダーやメニューの上位階層があるときに点灯します。

⑥ ≡ (リスト) インジケーター

リスト機能を使用しているときに点灯します。

⑦ ▶ インジケーター

フォルダーやメニューに下位階層があるときに点灯します。

⑧ [LOUD] (ラウドネス) インジケーター

ラウドネスが ON のときに点灯します。

⑨ ∞ (ステレオ) インジケーター

ステレオ放送の受信中に点灯します。

⑩ ⇄ (リピート) インジケーター

リピート再生中に点灯します。

⑪ [X] (ランダム/シャッフル) インジケーター

ランダム再生中、または iPod のシャッフル機能が ON のときに点灯します。

⑫ [D] D インジケーター

ドルビーデジタル音声を選択しているときに点灯します(別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続した場合)。

⑬ [DOLBY DIGITAL II] DOLBY II インジケーター

ドルビープロロジックの機能を使用しているときに点灯します(別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続した場合)。

⑭ [DTS] dts インジケーター

DTS 音声を選択しているときに点灯します(別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続した場合)。

✎ メモ

- 「モニターの有無を設定する」(➡「モニターの有無を設定する」83 ページ)が ON の場合、② から ⑦ は表示しません。

- ① (VOLUME) ボタン
(⇒「基本的な操作」16 ページ)
- ② (MUTE) ボタン
(⇒「瞬時に音を消す」85 ページ)
- ③ (SOURCE) ボタン
- ④ (音声) ボタン
 (字幕) ボタン
 (アングル) ボタン
- ⑤ (オートプレイ) ボタン
(⇒「オートプレイを設定する」27 ページ)
- ⑥ (RETURN) ボタン
- ⑦ (ブックマーク) ボタン
(⇒「お気に入りの場面を登録する」24 ページ)
- ⑧ 操作モード切り換えスイッチ
(⇒「リモコンの準備」10 ページ)
- ⑨ (DIRECT) ボタン
- ⑩ (再生/一時停止) ボタン
 (早戻し/早送り) ボタン
 (スキップ) ボタン
 (コマ送り) ボタン
 (停止) ボタン
- ⑪ ①～⑩ (数字) ボタン
Ⓒ (CLEAR) ボタン
- ⑫ (BAND) ボタン
- ⑬ (DISPLAY) ボタン
- ⑭ (A.MENU) ボタン
- ⑮ (FUNCTION) ボタン
- ⑯ サムパッド
- ⑰ (MENU) ボタン
 (TOP MENU) ボタン

操作モードによって機能が異なるボタン

(ブックマーク) ボタン

DVH モードのときは、ソースごとにあらかじめ登録されている機能（ポーズやBSMなど）を直接操作できます（⇒「よく使う機能を直接操作する」85 ページ）。

①～⑩ (数字) ボタン

DVH モードのとき：
ラジオのプリセットチューニングやマルチCDのディスク選択などが操作できます。
DVD モードのとき：
ビデオCDのメニューを選ぶことができます。

(BAND) ボタン

DVH モードのとき：
本体のBAND/ESC ボタンと同様の操作ができます。
DVD モードのとき：
再生するファイルの種類を切り換えることができます。

サムパッドの上下左右の操作

DVH モードのとき：
本体の▲/▼/◀/▶ ボタンと同様の操作ができます。
DVD モードのとき：
DVD メニューの項目を選択できます。

サムパッドの中心を押す

DVH モードのとき：
内蔵DVD、iPod、USBのリスト画面を表示します。(別売のモニターを接続したとき)
DVD モードのとき：
DVD メニューの項目を決定できます。

ご注意

- DVD モードのときは、 (DIRECT) ボタンは使えません。
- DVH モードのときは、 (停止) ボタン、 (10) ボタンは使えません。

基本的な操作

電源 ON・OFF ソース切り換え 音量調節

1 電源を ON にする

SRC/OFF ボタンを押す

本機の電源が ON になります。

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押す

SRC/OFF ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。



4 電源を切る

SRC/OFF ボタンを長く押す

本機の電源が切れます。



ソースとは

- SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、内蔵 DVD やラジオなどの音源のことです。



EXTERNAL (エクスターナルユニット) とは

- 本機にソースとして認識されないパイオニア製品(将来発売される製品など)を、エクスターナルユニットと呼びます。本機は、エクスターナルユニットを計 2 台まで接続してコントロールできます。2 台のエクスターナルユニットを接続した場合、それぞれのユニットは EXTERNAL1、EXTERNAL2 ソースとして自動的に認識されます。表示は、どちらを選んだ場合も EXTERNAL になります。



知っている则便利

- リモコンの (+) / (-) ボタンを押して、音量を調節することもできます。



メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調整範囲は 0 ~ 62 です。
- ディスクをディスク挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (→「外部機器 (AUX) をソースに設定する」80 ページ) を OFF にしていると、AUX1 / AUX2 には切り換わりません。
- AUX1 は初期設定では AUDIO に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください (→「外部機器 (AUX) をソースに設定する」80 ページ)。
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

3 音量を調節する

ロータリーコマンドを回す

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

- 4 秒間、音量が表示されます。

Bluetooth アダプターを接続したときは

操作のしかたは、組み合わせた Bluetooth アダプター（例：「CD-BTB10J」）の取扱説明書をご覧ください。（本機は「メインユニット 1」に相当します。）

メモ

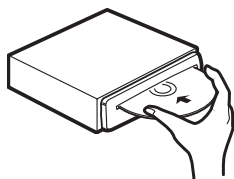
- ファンクションメニューの選びかたは、「メインユニット 1」ではなく「メインユニット 2」と同様です。
- 電話を切ったときは、前のソースに切り換わります。
- 電話がかかってきたときは、BAND/ESC ボタンを押しても TEL と BT AUDIO を切り換えることはできません。

内蔵 DVD のふだんの操作

ディスクをセットする ディスクを再生する
タイトル・フォルダーを選ぶ チャプター・ファイル・トラックを選ぶ
早送り・早戻し ディスクを取り出す

1 ディスクをセットする

ディスクをディスク挿入口に差し込む



2 タイトル／フォルダーを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

次のタイトル／フォルダーを選ぶとき：

- ▲ ボタンを押す

前のタイトル／フォルダーを選ぶとき：

- ▼ ボタンを押す

- DVD、WMA / MP3 / AAC、DivX、JPEG 再生中に、操作できません。

3 チャプター／ファイル／トラックを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプター／ファイル／トラックを選ぶとき：▶ ボタンを押す

前のチャプター／ファイル／トラックを選ぶとき：◀ ボタンを押す

4 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを長く押す

早送り：▶ ボタンを長く押す

早戻し：◀ ボタンを長く押す

- DVD、ビデオ CD、DivX ファイル再生中に、5 秒以上押し続けると、ボタンから手を離しても、早送り／早戻しを続けます。見たい場所で、リモコンの [▶] ボタンを押すと、その場所から再生されます。

- JPEG ファイル再生中は、10 ファイルごとにサーチします。

ご注意

- DVD やビデオ CD によっては、早送り／早戻しできない場所があり、その場所になると自動的に通常再生に切り換わります。

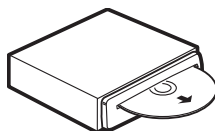
5 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

6 ディスクを取り出す

▲ ボタンを押す

ディスクが出てきて、自動的に電源 OFF になります。



ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 8cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した 8cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。ディスク挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。

知っていると便利

- メニュー付きの DVD では、メニュー画面が表示されます。この場合は、ロータリーコマンドーまたはリモコンのサムパッド (DVD モード) で再生を開始してください。(→「メニュー画面の操作」23 ページ)
- PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオ CD では、メニュー画面が表示されます (本機のディスプレイには、PBC と表示されます)。この場合、リモコンの ④ ~ ⑩ ボタンで再生を開始してください。(→「PBC メニュー画面の操作」23 ページ)
- 本機では、PBC を解除できません。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、DivX ファイル、および JPEG ファイルの再生時は、BAND/ESC ボタンを長く押し、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータ (CD-DA)、DivX および JPEG ファイルが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるには、BAND/ESC ボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭のファイルから始まります。
- リモコン (DVH モード) のサムパッドを上下左右に操作することで、本体の ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンと同様の操作ができます。

メモ

- ディスクをセットしたまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- 電源が OFF のときでも、▲ ボタンを押してディスクを取り出すことができます。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には FRMT READ と表示されます。
- ブックマーク機能でお気に入りの場面を登録してある場合、その場面から再生を開始します (→「お気に入りの場面を登録する」24 ページ)。
- オートプレイを ON に設定している場合、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始します (→「オートプレイを設定する」27 ページ)。
- VBR (可変ビットレート) で録音された WMA / MP3 / AAC ファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 選局

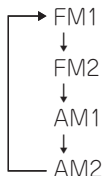
1 ソースをラジオにする

ソースが TUNER になるまで SRC/OFF ボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

押しごとに、次のようにバンドが切り換わります。



3 放送局を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ:

▶ ボタンを押す

低い周波数の放送局を選ぶ:

◀ ボタンを押す

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ:

▶ ボタンを長く押し離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ:

◀ ボタンを長く押し離す

4 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

知っているとは便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ◀ / ▶ ボタンを押し続けている間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。
- リモコン（DVHモード）のサムパッドを上下左右に操作することで、本体の ▲ / ▼ / ▶ ボタンと同様の操作ができます。

メモ

- USB 機器または iPod を本機に接続したままラジオを聞くと、ノイズが出る場合があります。その場合は、USB 機器または iPod を本機から取り外してください。

USB 機器のふだんの操作

USB 機器の曲を再生する
フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ
早送り・早戻し

1 USB 機器の曲を再生する

USB 機器を接続して、ソースが USB になるまで SRC/OFF を押す

2 フォルダーを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

次のフォルダーを選ぶ： ▲ ボタンを押す
前のフォルダーを選ぶ： ▼ ボタンを押す

3 ファイルを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のフォルダーを選ぶ： ▶ ボタンを押す
前のフォルダーを選ぶ： ◀ ボタンを押す

4 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを押し続ける

早送り： ▶ ボタンを長く押す

早戻し： ◀ ボタンを長く押す

- JPEG ファイル再生時には 10 ファイルごとにサーチします。

5 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

ご注意

- 対応する USB 機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります（➡「USB 機器について」103 ページ、「おもな仕様」116 ページ）。

知っているとは便利

- USB 機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- WMA / MP3 / AAC ファイル、および JPEG ファイルが混在している USB 機器の場合、切り換えて再生できます。切り換えるには、BAND/ESC ボタンを押します。再生はそれぞれ一番先頭のファイルから始まります。
- BAND/ESC ボタンを長く押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

メモ

- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB ソースでは、接続した USB 機器の情報を読みとる間、FRMT READ と表示されます。USB 機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する 曲を選ぶ 早送り・早戻し

別売の iPod 用 USB 接続ケーブル（例：CD-IU50）を使用して iPod を本機に接続すると、iPod を本機から USB-IPOD ソースとして操作できます。対応している iPod について詳しくは（⇒「本機の特徴」9 ページ）

別売の iPod ビデオ対応ケーブル（CD-IUV50M）を使用して iPod を本機に接続すると、iPod のビデオを再生できます。

1 iPod のビデオ／曲を再生する

iPod を接続して、ソースが USB-IPOD になるまで SRC/OFF ボタンを押す

2 チャプター／曲を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプター／曲を選ぶとき：

▶ ボタンを押す

前のチャプター／曲を選ぶとき：


◀ ボタンを押す

3 早送り／早戻しする

◀ / ▶ ボタンを押す

早送り：▶ ボタンを長く押す

早戻し：◀ ボタンを長く押す

- ビデオ再生中に 5 秒以上押し続けると
◀ / ▶ ボタンから手を離しても、早送り／早戻しを続けます。見たい場所で、リモコンの  ボタンを押すと、その場所から再生されます。

4 ほかのソースに切り換えるか、電源をオフにする

SRC/OFF ボタンを押す（または長く押す）

ご注意

- 再生範囲が ONE のときは ◀ / ▶ ボタンを押してビデオ／曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- iPod を本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。

メモ

- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。
- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については（⇒「iPod について」104 ページ）

よく使う機能をボタンで すぐに操作する

🔍 ボタン

- 内蔵 DVD、マルチ CD、USB のときに押すと、トラック、ディスク、フォルダー／ファイルリストを表示します (⇒「タイトルを見て再生したいタイトル／トラック／フォルダー／ファイルを探す」27 ページ、「タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーを探す」36 ページ)。
- iPod を接続しているときに押すと、ブラウズモードになります (⇒「聞きたい曲などを探す」42 ページ)。
- iPod を接続しているときに長く押すと、リンクプレイの詳細設定画面を表示します (⇒「再生中の曲にリンクした曲を再生する」45 ページ)。

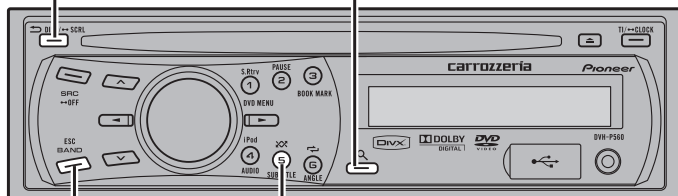


メモ

- リスト表示中に 🔍 ボタンを押すと、ふだんの再生画面に戻ります。
- ラジオのときは、使用できません。

↶/DISP/SCRL ボタン

- 押すごとに、ディスプレイの表示を切り換えます。
- 長く押すことで、ディスプレイのタイトル表示をスクロールします。



BAND/ESC ボタン

- ファンクションメニューやオーディオメニューなどの表示中に押すと、ふだんの再生画面に戻ります (初期設定メニュー表示中に押すと、電源が OFF になります)。
- ラジオのときに押すと、バンドが切りかわります。

5/⌘/SUB TITLE ボタン

- 内蔵 DVD および USB 再生中に押すと、ランダムプレイの ON / OFF を切り換えます。
- iPod を接続しているときに押すと、シャッフルオールを ON できます。

リモコンの基本操作

DVD DVH

再生を一時停止する

1 再生を一時停止する

再生中に、**[PAUSE]** ボタンを押す

映像が一時停止します。
再生するには、もう一度 **[PAUSE]** ボタンを押します。



メモ

- この機能は、本体の 2/PAUSE ボタンでも操作できます。
- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**[STOP]** (禁止マーク) が表示され、一時停止できないことがあります。

再生を止める

1 再生を停止する

[STOP] ボタンを押す

ディスク再生が停止します。
再生するには、**[PLAY]** ボタンを押します。



メモ

- 再生は、停止した場所から再開されます。ディスクによっては、メニュー画面が表示され、前回の続きから再生できないものもあります。

次のチャプター（トラック）へ進む

1 チャプター（トラック）を進める

再生中に **[NEXT]** ボタンを押す
次のチャプター（トラック）に進みます。



メモ

- この機能は、本体の **[NEXT]** ボタンでも操作できます。

前のチャプター（トラック）へ戻る

1 チャプター（トラック）を戻す

再生中に **[PREV]** ボタンを押す

再生中のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。



メモ

- この機能は、本体の **[PREV]** ボタンでも操作できます。
- 連続して 2 度操作すると、1 つ前のチャプター（トラック）の初めに戻ります。

早送り／早戻しする

1 ディスクを早送り／早戻しする

再生中に **[SKIP FWD]** または **[SKIP BWD]** ボタンを押し続ける

ディスクが早送り／早戻しされます。

2 見たい場面を再生する

ボタンから手を離す



知っていると便利

- この機能は、本体の **[SKIP FWD]** / **[SKIP BWD]** ボタンでも操作できます。



メモ

- DVD や DivX、ビデオ CD 再生中に **[SKIP FWD]** / **[SKIP BWD]** ボタンを 5 秒以上押すと、**[SKIP FWD]** (早戻しマーク) / **[SKIP BWD]** (早送りマーク) の表示が反転し、ボタンから手を離しても早送り／早戻しが継続されます。見たい場所で **[SKIP FWD]** ボタンを押すと、その場所から再生されます。
- ディスクによっては、早送り／早戻しできない場所があり、その場所では自動的に通常再生に切り換わります。

メニュー画面の操作

DVD DVH

DVD ビデオの機能です。

リモコンを使ってメニュー画面でメニューを選べます。



メニュー画面を表示するには

- 再生中に、**[MENU]** ボタンまたは **[JPG]** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。**[MENU]** ボタンをもう一度押すと、メニュー画面に切り換えた場面から再生することができます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1 メニューを選ぶ

サムパッドを上下左右に操作する

2 選んだメニューを再生する

サムパッドを押す



知っていると便利

- この機能は、本体の 1/S.Rtrv/DVD MENU /▲/▼/◀/▶ ボタン/ロータリーコマンド (押す) でも操作できます。

PBC メニュー画面の操作



ビデオ CD の機能です。

PBC (プレイバックコントロール) 機能付きビデオ CD を再生すると、メニュー画面が表示されます。



PBC メニュー画面を表示するには

- PBC 再生中に、**[RETURN]** ボタンを押すことで、メニュー画面を表示することができます。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

1 メニューを選ぶ

① ~ ⑩ ボタンを押す

選んだメニューから再生されます。

3 を選ぶには、③ のボタンを押します。

10 を選ぶには、⑩、① の順に押します。

23 を選ぶには、⑩、⑩、③ の順に押します。



メモ

- サムパッドでは操作できません。
- メニュー画面が 2 ページ以上あるときは、**[1<<<]** / **[>>>2]** ボタンを押して表示を切り換えます。

DivX VOD ファイルを再生する



DivX の機能です。

DivX VOD ファイルを再生することができます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video On Demand」の略です。DivX VOD ファイルを再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。DVD の設定で本機の登録コードを確認できます (→「DivX VOD の登録コードを確認する」78 ページ)。



ご注意

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生できます。

1 DivX VOD ファイルを再生する

視聴回数画面を表示中に、**[▶]** ボタンを押す



メモ

- DivX VOD ファイルを再生したくない場合は、**[■]** ボタンを押します。
- 再生する DivX VOD ファイルを選ぶには、**[1<<<]** / **[>>>2]** ボタンを押します。

お気に入りの場면을登録する

ブックマーク



DVD ビデオの機能です。

お気に入りの場면을本機に登録して、次に再生するときその場面から再生することができます。

お気に入りの場面を登録する



本機に登録できる場面の数について

- 本機に登録できる場面の数は1枚のディスクにつき1場面です。5枚を超えるディスクでお気に入りの場面を登録した場合、一番古いディスクの登録内容が消されて、新しいディスクの場面を登録します。

1

お気に入りの場面を登録する

再生中に **[RECALL]** ボタンを押す

登録したい場面でブックマークボタンを押すと、次の再生は、登録した場面から再開されます。



知っている则便利

- この機能は、本体の3/BOOKMARK ボタンでも操作できます。



メモ

- **[RECALL]** ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、**[RECALL]** ボタンを2秒以上押してください。

再生を中断した場面を登録する

1

再生を中断した場面を登録する

再生中に本体の **[STOP]** ボタンを2秒以上押して、ディスクを取り出す

再生が中断され、ディスクが出てきます。再生を中断したときの場面が本機に登録され、次の再生は、登録した場面から再開されます。



メモ

- **[STOP]** ボタンで登録した場面を消去する場合、消去したい場面を含むディスクを再生しているときに、**[STOP]** ボタンを押してディスクを取り出してください。
- 本機に登録できるのは、ディスク1枚分です。

タイトル（トラック）を指定する



DVD、ビデオCDの機能です。

リモコンを使ってタイトル（トラック）を選べます。

1

タイトル（トラック）を指定する

ディスク再生停止中に、**[0]**～**[10]** ボタンを押す

3を選ぶには、**[3]** のボタンを押します。

10を選ぶには、**[10]**、**[0]** と押します。

23を選ぶには、**[10]**、**[10]**、**[3]** の順に押します。



メモ

- PBC機能付きビデオCDでは、この操作はできません。

チャプター（トラック）を直接指定する

ダイレクトサーチ



リモコンを使ってチャプター（トラック）を直接選べます。

1

チャプター（トラック）番号入力画面を表示する

[DIRECT] ボタンを押す

2

見たいチャプター（トラック）の番号を選ぶ

[0]～**[9]** のボタンを押す

3を選ぶには、**[3]** のボタンを押します。

10を選ぶには、**[1]**、**[0]** の順に押します。

[0] ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3

選んだチャプター（トラック）を再生する

もう一度 **[DIRECT]** ボタンを押す

 メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、この操作はできません。
- WMA / MP3 / AAC、DivX、JPEG 再生時は、再生しているフォルダー内のファイルだけ選べます。
- チャプター(トラック)番号入力を解除するには、(BAND) ボタンを押します(約 8 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます)。

コマ送り再生をする

DVD DVH

DVD、DivX、ビデオ CD の機能です。

再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 コマ送り再生をする

再生中に(▶) ボタンを押す

ボタンを押すごとに、映像が 1 コマ送られます。通常の再生に戻るには、(◀) ボタンを押します。

 メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、(⏏) (禁止マーク) が表示され、コマ送り再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り時に映像が乱れることがあります。
- コマ戻しはできません。
- DVD-VR ディスクに収録された静止画像を表示中に(▶) ボタンを押すと、次の静止画像または映像に切り換わります。

スロー再生をする

DVD DVH

DVD、DivX、ビデオ CD の機能です。

再生のスピードを遅くして見ることができます。

1 スロー再生をする

再生中に(▶) ボタンを 1 秒以上押す

映像がスローで再生されます。通常の再生に戻るには、(◀) ボタンを押します。スロー再生中に、(◀) または (▶) ボタンを押すと、スロー再生の速度を変更することができます。ボタンを押すごとに、次の順で速度が切り換わります。

1/16 ↔ 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2

 メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、(⏏) (禁止マーク) が表示され、スロー再生ができないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時、映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- DivX では、スロー再生の速度は変更できません。

再生中に音声言語を切り換える

マルチ音声

DVD DVH

DVD、DivX の機能です。

言語や音声タイプ(ドルビーデジタルや DTS など)のの違いで複数の音声収録されているディスクでは、再生中に音声を切り換えることができます。

1 音声選択マークを表示する

再生中に(⊞) ボタンを押す

2 音声を切り換える

音声選択マークが表示されている間に(⊞) ボタンを押す
ボタンを押すごとに、音声切り換わります。



知っているとお便利

- この機能は、本体の4/iPod/AUDIO ボタンでも操作できます。



メモ

- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 音声言語の切り換えは DVD 設定でも行うことができます。詳しくは、(➡「基本音声を設定する」73 ページ) をご覧ください。
- DTS 音声は、デジタル出力だけに対応しています。本機の光デジタル出力を接続していないとき、DTS 音声は出力されません。この場合は、DTS 以外の音声を選んでください。
- Dolby D や Mch などの表示は、DVD に収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

- 字幕の切り換えは DVD 設定でも行うことができます。詳しくは、(➡「基本字幕を設定する」73 ページ) をご覧ください。

再生中に字幕言語を切り換える

マルチ字幕

DVD DVH

DVD、DivX の機能です。

複数の字幕が収録されているディスクでは、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 字幕選択マークを表示する

再生中に [字幕] ボタンを押す

2 字幕言語を切り換える

字幕選択マークが表示されている間に [字幕] ボタンを押す
ボタンを押すごとに、字幕が切り換わります。



知っているとお便利

- この機能は、本体の5/xx/SUB TITLE ボタンでも操作できます。



メモ

- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。

再生中にアングルを切り換える

マルチアングル


DVD DVH

DVD ビデオの機能です。

複数の角度（アングル）から撮影した映像が収録されている DVD では、再生中にアングルを切り換えることができます。



アングル切り換えができる場面について

- 本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下に （マルチアングルマーク）を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示の ON / OFF は、内蔵 DVD の初期設定で行います。詳しくは、(➡「マルチアングルマーク表示を設定する」75 ページ) をご覧ください。

1 マルチアングルマークを表示する

再生中に [アングル] ボタンを押す

2 アングルを切り換える

マルチアングルマークとアングル番号が表示されている間に [アングル] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、アングルが切り換わります。



知っているとお便利

- この機能は、本体の6/↔/ANGLE ボタンでも操作できます。



メモ

- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に [アングル] ボタンを押すと、早送り/早戻し、スロー再生、または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り換わりません。

指定された場面に戻る

DVD DVH

DVD ビデオの機能です。

DVD であらかじめ指定されている場面に戻ることができます。

ご注意

- 戻るシーンが指定されていない DVD では、この機能は無効です。

1 指定されている場面に戻す

 ボタンを押す

オートプレイを設定する

オートプレイ

DVD DVH

DVD ビデオの機能です。

DVD ディスク挿入と同時に、数字の若いタイトルから自動的に再生を開始することができます。

1 オートプレイを ON にする

 ボタンを押す

A PLAY:ON と表示され、オートプレイの設定が ON になります。

もう一度押すと、OFF になります。

メモ

- ディスクによっては、オートプレイを ON にしても、期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイを OFF にしてください。

タイトルを見て再生したいタイトル／トラック／フォルダー／ファイルを探す

リスト表示

1 タイトル／トラック／フォルダー／ファイルリストを表示する

Q ボタンを押す

2 再生したいタイトル／トラック／フォルダー／ファイルを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す



3 選んだタイトル／トラック／フォルダー／ファイルを再生する

ロータリーコマンドーを押す

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

知っている则便利

-  /DISP/SCRL ボタンを押すと、1 つ前のリスト (1 つ上の階層) に戻ります。◀ ボタンを押すことでも可能です。
- フォルダーを選んでいるときにロータリーコマンドーを長く押すと、選んだフォルダー内の曲を 1 曲目からすべて再生できます。
▶ ボタンを長く押すことでも可能です。
- ▶ ボタンを押して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、 /DISP/SCRL ボタンを長く押しします。
- リモコン (DVH モード) のサムパッドを使って、タイトル／トラック／フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。

メモ

- 文字表示は、英数字のみに対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- タイトル／トラック／フォルダー／ファイルリストは、30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

- ▶ REPEAT (再生範囲設定)
(⇒「繰り返し再生する」このページ)
↓
- RANDOM (ランダムプレイ設定)
(JPEG、CD、圧縮オーディオ再生時のみ)
(⇒「違う順序で再生する」30 ページ)
↓
- SCAN (スキャンプレイ設定)
(CD、圧縮オーディオ再生時のみ)
(⇒「曲／フォルダーを探す」30 ページ)
↓
- LR SELECT (音声出力設定)
(DVD ビデオディスク、DVD-VR、ビデオ CD 再生時のみ)
(⇒「音声の出力方法を切り換える」29 ページ)
↓
- ROTATION (画像回転)
(JPEG 再生時のみ)
(⇒「JPEG 画像を回転表示する」31 ページ)
↓
- PAUSE (ポーズ設定)
(⇒「再生を一時停止する」31 ページ)
↓

- PLAYLIST (再生モード設定)
(DVD-VR 再生時のみ)
(⇒「再生モードを切り換える」32 ページ)
↓
- S.RTRV (サウンドレトリバー設定)
(CD、圧縮オーディオ再生時のみ)
(⇒「音を補正して高音質化する」32 ページ)

知っている则便利

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- PBC 機能付きビデオ CD では、REPEAT (再生範囲切換) には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。

繰り返し再生する

REPEAT

繰り返し再生する範囲を設定できます。

設定の内容

- ディスクリビート：**
再生中のディスクを繰り返し再生します。
- チャプターリビート：**
再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- タイトルリビート：**
再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- トラックリビート：**
再生中のトラック (ファイル) を繰り返し再生します。
- フォルダーリビート：**
再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドを操作して、REPEAT を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押して、回すロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

■ DVD 再生時

DISC (ディスクリピート)
 ↓
 CHAPTER (チャプターリピート)
 ↓
 TITLE (タイトルリピート)

■ CD、ビデオ CD 再生時

DISC (ディスクリピート)
 ↓
 TRACK (トラックリピート)

■ WMA / MP3 / AAC、DivX 再生時

DISC (ディスクリピート)
 ↓
 TRACK (トラックリピート)
 ↓
 FOLDER (フォルダーリピート)

■ JPEG 再生時

DISC (ディスクリピート)
 ↓
 FOLDER (フォルダーリピート)

- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内のファイルだけを再生します。サブフォルダー内のファイルは、再生しません。

音声の出力方法を切り換える

LR SELECT

DVD、ビデオ CD の機能です。

音声の出力方法をステレオまたはモノラル、左右ミックスに切り換えることができます。



ご注意

- DVD ビデオでは、音声は LPCM のときだけ、音声の出力方法を切り換えることができます。
- デジタル出力の設定が、「ストリーム」に設定されていると、音声の出力方法は切り換えられません。Dual Mono モードで記録された DVD ビデオディスクを再生するときは、デジタル出力の設定を「リニア PCM」に設定してください (➡「デジタル出力の設定をする」78 ページ)。

3 ロータリーコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

⏏/DISP/SCRL を長く押すと、メインメニューに戻ります。



知っていると便利

- ふだんの再生画面で 6/↶/ANGLE ボタンを押して、再生範囲を切り換えることもできます。



メモ

- DVD オートプレイ (➡「オートプレイを設定する」27 ページ) が ON に設定されている場合、再生範囲設定できません。
- PBC 機能付きビデオ CD では、再生範囲の設定はできません。また、本機では PBC 再生は解除できません。
- フォルダーリピート再生中にほかのフォルダーを選んだときは、ディスクリピートに切り換わります。

1 音声出力設定にする

ロータリーコマンドを操作して、LR SELECT を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押して、回すロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

L+R (ステレオ)
 ↓
 L (モノ左)
 ↓
 R (モノ右)
 ↓
 MIX (左右ミックス)

3 ロータリーコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

違う順序で再生する

RANDOM 設定

CD、WMA / MP3 / AAC、JPEGの機能です。

曲やファイルを順不同(ランダム)に再生できます。いつもと違った順序で再生したいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでもおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます(→「繰り返し再生する」28ページ)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、RANDOM を選ぶ

3 ランダムプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っているとお便利

- ふだんの再生画面で5/xx/SUB TITLE ボタンを押して、ランダムプレイ設定を ON / OFF することもできます。



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD : ディスクリピート
WMA / MP3 / AAC : フォルダールリピート

曲 / フォルダーを探す

SCAN

CD、WMA / MP3 / AACの機能です。

曲やフォルダーのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます(スキャン再生)。聞きたい曲やフォルダーを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでもおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます(→「繰り返し再生する」28ページ)

■ 聞きたい曲を探すとき
(トラックスキャン再生)

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

CD 再生時は、ディスクリピートに切り換えます。

WMA / MP3 / AAC 再生時は、フォルダールリピートに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーを探すとき
(フォルダースキャン再生)

再生中のディスクの全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

WMA / MP3 / AAC 再生時に、ディスクリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、SCAN を選ぶ

3 スキャンプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す

曲やフォルダーのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、自動的にふだんの再生画面に戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイをOFFにする

ロータリーコマンドを押す

ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD：ディスクリピート
MP3 / WMA / AAC：フォルダーリピート

再生を一時停止する

PAUSE

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

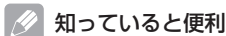
ロータリーコマンドを操作して、PAUSE を選ぶ

2 ポーズを ON にする

ロータリーコマンドを押す
もう一度押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っている则便利

- ふだんの再生画面で2/PAUSE ボタンを押して、ポーズをON / OFF することもできます。

JPEG 画像を回転表示する

ROTATION

JPEG の機能です。

JPEG 画像を、回転して表示できます。回転する角度は90度ごとに設定できます。

1 画像回転設定にする

ロータリーコマンドを操作して、ROTATION を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押して、回す
ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

0 (0度)
↓
90 (90度)
↓
180 (180度)
↓
-90 (-90度)

3 ロータリーコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

音を補正して高音質化する

S.RTRV

CD、WMA / MP3 / AAC の機能です。

音の密度感や抑揚感を向上させて、再生できます。

1 サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、S.RTRV を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

OFF ↔ 1 ↔ 2

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っているとお便利

- ふだんの再生画面で1/S.Rtrv/DVD MENU ボタンを押して、サウンドレトリバーの設定を切り換えることもできます。



メモ

- 1より2のほうが効果が大きくなります。
- 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続している場合、サウンドレトリバーを1または2に切り換えると、音量が少し小さくなります。音量は、1より2のほうがより小さくなります。2の設定のままご自身で音量を大きくした場合、OFFにする際に注意してください。音量が突然大きくなったように聞こえます。

再生モードを切り換える

PLAYLIST

DVD-VR ディスクの機能です。

ORIGINAL（オリジナルモード）または、PLAYLIST（プレイリストモード）のどちらかを選んで再生できます。



ご注意

- プレイリストが作成されているディスクを再生したときだけ、PLAYLIST（再生モードの切り換え）が選べます。



プレイリストとは

- DVDレコーダーで作られたタイトルをオリジナルと呼びます。そして、オリジナルを元に編集用として作成したタイトルをプレイリストと呼びます。

1 再生モード設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、PLAYLIST を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、ORIGINALとPLAYLISTが切り換わります。

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

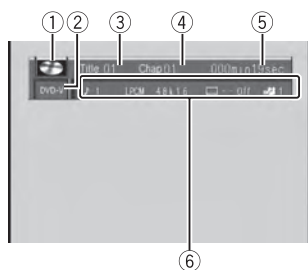
情報画面／タイトル画面を表示する

別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

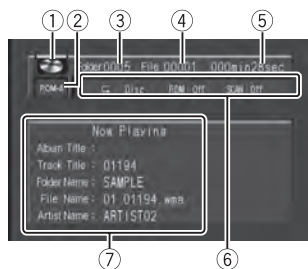
1 画面を切り換える

↩ / DISP / SCRL ボタンを押す

情報画面



タイトル画面



① ディスクの種類

WMA / MP3 / AAC ファイル、音楽 CD のデータおよび DivX ファイルが混在しているディスクの場合、「MIXED」と表示されます。

② メディアの種類

③ タイトル／フォルダー番号

④ チャプター／ファイル／トラック番号

⑤ 再生経過時間

⑥ 設定表示

DVD ビデオ再生時：

音声・字幕言語、アングル、再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DVD-VR ディスク再生時：

再生モード、音声タイプ、音声出力の方法、字幕設定、再生範囲が表示されます。

ビデオ CD 再生時：

再生範囲、音声出力の方法が表示されます。

DivX 再生時：

音声タイプ、字幕番号、再生範囲が表示されます。

JPEG 再生時：

再生範囲、ランダム設定が表示されます。

CD TEXT、WMA / MP3 / AAC 再生時：

再生範囲、ランダム設定、スキャン設定が表示されます。

⑦ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

CD TEXT 再生時：

Disc Title (ディスクタイトル)
Disc Artist (ディスクアーティスト名)
Track Title (トラックタイトル)
Track Artist (トラックアーティスト名)

WMA / MP3 / AAC 再生時：

Album Title (アルバムタイトル)
Track Title (トラックタイトル)
Folder Name (フォルダー名)
File Name (ファイル名)
Artist Name (アーティスト名)



メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- タイトル画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます(プリセットメモリー)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

2 登録したい放送局を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

3 放送局を登録する

1/S.Rtrv/DVD MENU ~ 6/⇨ /ANGLE のボタンの1つを長く押す

登録動作中に押したボタンの番号(登録番号)が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSM やプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 放送局を登録したバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

2 登録した放送局を受信する

■ プリセット番号を指定して受信するとき

1/S.Rtrv/DVD MENU ~ 6/⇨ /ANGLE のボタンの1つを押す。

■ プリセット番号順に受信するとき

▲ / ▼ ボタンを押す。

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSM とは

●BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 登録するバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

2 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

3 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

BSM に切り換わりします。

4 BSMを開始する

ロータリーコマンドを押す

登録動作が終わると、1/S.Rtrv/DVD MENUのボタンに登録した放送局を受信します。

もう一度押すと、途中解除します。

5 ふだんの受信画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。たとえば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。



メモ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

曲やファイルを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、再生したい曲やファイルを手直接選べます。

1 再生したい曲やファイル番号入力画面を表示する

 ボタンを押す

2 再生したい曲やファイルの番号を入力する

① ～ ⑨ ボタンを押す

3 を選ぶには、③ のボタンを押します。

10 を選ぶには、①、⑩ の順に押します。


⑩ ボタンを押すと、入力した番号が消えます。

3 選んだ曲／ファイルを再生する

 ボタンを押す



メモ

- 再生しているフォルダー内の曲（ファイル）だけが選べます。
- 曲番号入力画面を解除するには、 ボタンを押します。約 8 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

タイトルを見て再生したいファイルやフォルダーを探す

REPEAT

WMA / MP3 / AAC の機能です。

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、再生したいファイルやフォルダーを選べます。

フォルダー／ファイルリストは、別売のモニターに表示されます。

1 フォルダー／ファイルリストを表示する

 ボタンを押す

2 再生したいフォルダー／ファイルを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

▲ / ▼ ボタンを押すごとに、フォルダー／ファイルが切り換わります。

3 選んだフォルダーに収録されている、フォルダー／ファイルリストを表示する

ロータリーコマンドを押す

選んだフォルダーに収録されている、フォルダー／ファイルリストが表示されます。

4 再生したいファイルを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

▲ / ▼ ボタンを押すごとに、フォルダー／ファイルが切り換わります。

5 ファイルを再生する

ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます。

6 再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- ◀ ボタンを押すと、1 つ前のリスト（1 つ上の階層）に戻ります。
- フォルダーを選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、選んだフォルダー内の曲を 1 曲目からすべて再生できます。▶ ボタンを長く押しでも可能です。
- ▶ ボタンを押して、ファイルやフォルダーを選ぶこともできます。
- ▶ ボタンを押して、選んだファイルを再生することもできます。

- 最上位の階層に戻るには、◀ ボタンを長く押しします。
- リモコン (DVH モード) のサムパッドを使って、フォルダー／ファイルリストを操作することもできます。

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- リスト画面の文字表示は、スクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、30 秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

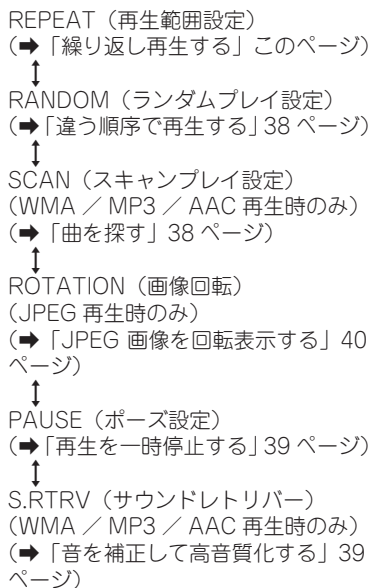
ロータリーコマンドーを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



知っていると便利

- リモコンの **FUNC** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

繰り返し再生する

REPEAT

繰り返し再生する範囲を設定できます。

設定の内容

- オールリピート：
すべての曲を繰り返し再生します。
- トラックリピート：
再生中の曲を繰り返し再生します。
- フォルダーリピート：
再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

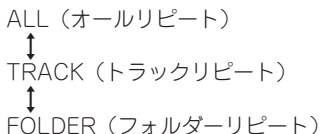
1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、REPEAT を選ぶ

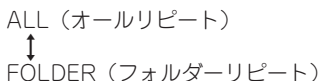
2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

■ WMA / MP3 / AAC 再生時



■ JPEG 再生時



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- ふだんの再生画面で6/↔/ANGLE ボタンを押して、再生範囲を切り換えることもできます。

違う順序で再生する

RANDOM

曲やファイルを順不同 (ランダム) に再生できます。いつもと違った順序で再生したいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます (→「繰り返し再生する」37 ページ)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、RANDOM を選ぶ

3 ランダムプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- ふだんの再生画面で5/xx/SUB TITLE ボタンを押して、ランダムプレイ設定を ON / OFF することもできます。



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲を探す

SCAN

WMA / MP3 / AAC の機能です。

曲のはじめの部分だけを、約 10 秒ずつ再生できます (スキャン再生)。聞きたい曲を探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます (→「繰り返し再生する」37 ページ)

■ 聞いているフォルダー内で聞きたい曲を探すとき

再生中のフォルダーのすべての曲を、約 10 秒ずつ再生します。再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。

■ USB 機器全体から聞きたい曲を探すとき

USB 機器に収録されているすべての曲を、約 10 秒ずつ再生します。再生範囲をオールリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、SCAN を選ぶ

3 スキャンプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す

曲のはじめの約 10 秒間が次々に再生されます。スキャンプレイを始めて 30 秒たつと、ふだんの再生画面に自動的に戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダーが再生されたら、スキャンプレイを OFF にする

ロータリーコマンドーを押す

ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順 2 の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドーを押すと、スキャンプレイ設定が OFF になります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

再生を一時停止する

PAUSE

ファイルの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、PAUSE を選ぶ

2 ポーズを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

知っている则便利

- ふだんの再生画面で 2/PAUSE ボタンを押して、ポーズを ON / OFF することもできます。

音を補正して高音質化する

S.RTRV

音の密度感や抑揚感を向上させて、再生できます。

1 サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、S.RTRV を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

OFF ↔ 1 ↔ 2

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- ふだんの再生画面で 1/S.Rtrv/DVD MENU ボタンを押して、サウンドレトリバーの設定を切り換えることもできます。



メモ

- MODE 1 は低圧縮率の音声、MODE 2 は高圧縮率の音声に適しています。
- 別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続している場合、サウンドレトリバーを 1 または 2 に切り換えると、音量が少し小さくなります。音量は、1 より 2 のほうがより小さくなります。2 の設定のままご自身で音量を大きくした場合は、OFF にする際に注意してください。音量が突然大きくなったように聞こえます。

JPEG 画像を回転表示する

ROTATION

JPEG の機能です。

JPEG 画像を、回転して表示できます。
回転する角度は 90 度ごとに設定できます。

1 画像回転設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、ROTATION を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

0 (0 度)
↓
90 (90 度)
↓
180 (180 度)
↓
-90 (-90 度)

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

ソース情報画面／タイトル画面を表示する

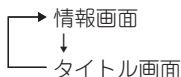
別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

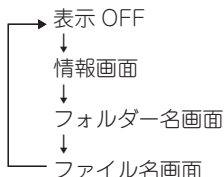
➡/DISP/SCRL ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。

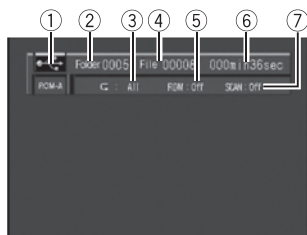
■ WMA / MP3 / AAC



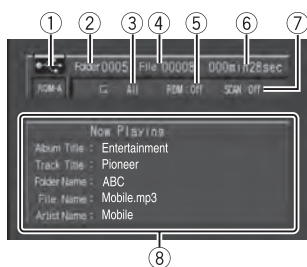
■ JPEG



ソース情報画面



タイトル画面



- ① ソースの種類
- ② フォルダー番号
- ③ 再生範囲
- ④ ファイル番号
- ⑤ ランダム設定
- ⑥ 再生経過時間
- ⑦ スキャン設定
- ⑧ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

Album Title (アルバムタイトル)
Track Title (トラックタイトル)
Folder Name (フォルダー名)
File Name (ファイル名)
Artist Name (アーティスト名)

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

チャプターを選ぶ

再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、チャプターを選べます。

1 チャプターを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

次のチャプターを選ぶとき：▶ ボタンを押す
前のチャプターを選ぶとき：◀ ボタンを押す

聞きたい曲などを探す

ブラウズ

ジャンル、アーティスト、アルバムのリストから、お好みのアーティストやアルバムなどを選んで再生できます。リストは、別売のモニターに表示されます。

1 ブラウズモードにする

Q ボタンを押す

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回して項目を選び、ロータリーコマンドを押す

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者、オーディオブックの中から選べます。

3 項目を絞り込む

手順 2 の操作を繰り返して、項目を絞り込む

4 選ぶ

ロータリーコマンドを回して選び、ロータリーコマンドを押す

再生が始まります。

知っているると便利

- ⏪ / DISP / SCRL ボタンを押すと、前の項目（1 つ上の階層）に戻ります。◀ ボタンを押すことでも可能です。
- アルファベット順に表示する項目のときに、Q ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります（⇒「曲などをアルファベットで検索する」このページ）。
- 再生したい項目を選んでいるときにロータリーコマンドを長く押すと、その項目内のファイルを最初からすべて再生できます。▶ ボタンを長く押すことでも可能です。
- ▶ ボタンを押して、項目を選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、⏪ / DISP / SCRL ボタンを長く押します。
- サムパッド（DVH モード）を上下左右に操作しても、同様の操作ができます。

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- 別売のモニターにリストが表示されている間、本機のディスプレイには、LIST と表示されます。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND / ESC ボタンを押します。30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。

曲などをアルファベットで検索する

アルファベットサーチ

アーティストやアルバムなどのリスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して曲などを検索できます。

ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベットおよび数字で記録されているものが対象です。

1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する

(→「聞きたい曲などを探す」42 ページ)の手順 1～3 を参照して、アーティストやアルバムなどのリストを表示する

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中にQボタンを押す

3 アルファベットを選ぶ

ロータリーコマンドを回してアルファベットを指定し、ロータリーコマンドを押す

指定したアルファベットの最初のアーティストやアルバムなどにカーソルが合った状態で、リストが表示されます。対象がなかったときは、NOT FOUND と表示されて、リスト表示に戻ります。

4 曲を選ぶ

(→「聞きたい曲などを探す」42 ページ)の手順 2～4 を参照して、選ぶ

ファンクションメニューの切り換えかた

「同じ曲・ビデオやリストを繰り返し再生する」「いつもと違う順序で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回してFUNCTIONを選び、ロータリーコマンドを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。

■ 再生しているとき

REPEAT (再生範囲設定)
(→「同じ曲・ビデオやリストを繰り返し再生する」44 ページ)



SHUFFLE (シャッフル設定)
(→「いつもと違う順序で再生する」44 ページ)



SHUFFLEALL (シャッフルオール設定) (音楽再生時のみ)
(→「すべての曲をシャッフルしてから再生する」45 ページ)



LINK PLAY (リンクプレイ設定) (音楽再生時のみ)
(→「再生中の曲にリンクした曲を再生する」45 ページ)



CTRL (操作設定)
(→「iPod で選曲して、本機から再生する」45 ページ)



PAUSE (再生を一時停止する)
(→「iPod」46 ページ)



AUDIO BOOK (オーディオブック設定) (音楽再生時のみ)
(→「オーディオブックの再生速度を変更する」46 ページ)



WIDE (ワイドスクリーン設定) (ビデオ再生時のみ)
(→「ワイド画面を設定する」47 ページ)



S.RTRV (サウンドレトリバー設定)
(→「音を補正して高音質化する」47 ページ)



知っていると便利

- リモコンの(FUNC)ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。

同じ曲・ビデオやリストを繰り返し再生する

REPEAT

曲やビデオを繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、再生している曲やビデオ、いま聞いているリストから選べます。



設定の内容

1 曲リピート：

再生している曲やビデオを繰り返し再生します。

リスト内全曲リピート：

いま聞いているリスト内のすべての曲やビデオを繰り返し再生します。



ご注意

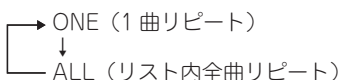
- 1 曲リピートを選ぶと、◀/▶ ボタンで曲を選ぶことはできなくなります。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、REPEAT を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っている则便利

- ふだんの再生画面で 6/◀/ANGLE ボタンを押すことでも、再生範囲を切り換えることができます。

いつもと違う順序で再生する

SHUFFLE

曲・ビデオやアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。



設定の内容

ソングシャッフル：

いま聞いているリスト内の曲やビデオをランダムに再生します。

アルバムシャッフル：

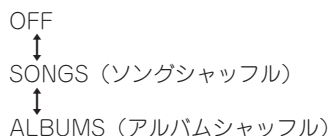
アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番どおりに再生します。

1 シャッフル設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、SHUFFLE を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

すべての曲をシャッフルしてから再生する

SHUFFLEALL

iPod のミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同 (ランダム) に再生できます。

1 シャッフルオール設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、SHUFFLEALL を選ぶ

2 シャッフルオールを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
全曲シャッフルされて、再生が始まります。

知っている と 便利

- ぶだんの再生画面で 5/xx/SUB TITLE ボタンを押すことでも、シャッフルオールを ON にすることができます。
- シャッフルオールを解除するには、シャッフル設定で OFF を選びます (→ 「いつもと違う順序で再生する」 44 ページ)。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

LINK PLAY

再生中の曲にリンクした曲を再生できます。リンクできるのは、次のリストの曲です。

- ・再生中のアーティストのアルバムリスト
- ・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
- ・再生中のジャンルのアルバムリスト

ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。

1 リンクプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、LINK PLAY を選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

3 リンク元を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

ARTIST (再生中のアーティスト)



ALBUM (再生中のアルバム)



GENRE (再生中のジャンル)

4 リンク元を選ぶ

ロータリーコマンドーを押して選ぶ

リストの検索が開始されます。検索後、曲の再生が始まります。

ご注意

- 本機に対応していない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。
- リンクを元に関連したリストがない場合は、NOT FOUND と表示されません。

知っている と 便利

- ぶだんの再生画面で Q ボタンを長く押しことでも、リンクプレイ設定への切り換えが操作できます。

iPod で選曲して、本機から再生する

CTRL

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらで行うかを切り換えられます。iPod に設定すると、iPod の見慣れた画面で操作できます。日本語のタイトルも、そのまま見て曲を選べるので便利です。

ご注意

- 以下の iPod では本機能は使用できません。
 - ・第 5 世代 iPod
 - ・第 1 世代 iPod nano
- 最新の情報については、カロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。



設定の内容

IPOD :

iPod で選曲などの操作をします。

AUDIO :

本機で選曲などの操作をします。

再生を一時停止する

PAUSE

曲の再生を一時停止できます。

1

操作設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、CTRL を選ぶ

2

設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、IPOD と AUDIO が切り換わります。

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っている则便利

- AUDIO に切り換えると、ふだんの再生画面に切り換わります。
- IPOD に切り換えると再生が停止されます。iPod を操作して、再生してください。



ご注意

- IPOD に設定した場合は、以下の制限があります。
 - ・ファンクションメニューは、CTRL および S.RTRV 以外には切り換わりません。
 - ・ブラウズモード（「聞きたい曲などを探す」42 ページ）には切り換わりません。
 - ・音量は本機からしか調節できません。
 - ・DVD 設定には切り換わりません。



知っている则便利

- ふだんの再生画面で 4/iPod/AUDIO ボタンを押すごとでも、コントロールモードの設定を切り換えることができます。
- IPOD に設定していても、本機から次の操作ができます。
 - ・音量の調節
 - ・選曲
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトルの表示切り換え

1

ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、PAUSE を選ぶ

2

ポーズを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

3

ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っている则便利

- ふだんの再生画面で 2/PAUSE ボタンを押して、ポーズを ON / OFF することもできます。

オーディオブックの再生速度を変更する

AUDIO BOOK

オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1

オーディオブックにする

ロータリーコマンドーを操作して、AUDIO BOOK を選ぶ

2

再生速度を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

NORMAL (標準)



SLOWER (やや遅い)



FASTER (やや速い)

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

音を補正して高音質化する

S.RTRV

音の密度感や抑揚感を向上させて、再生できます。

1 サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、S.RTRV を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

OFF ↔ 1 ↔ 2

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

知っている则便利

- ふだんの再生画面で 1/S.Rtrv/DVD MENU ボタンを押して、サウンドレトリバーの設定を切り換えることもできます。

メモ

- MODE 1 は低圧縮率の音声、MODE 2 は高圧縮率の音声に適しています。
- 別売の 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続している場合、サウンドレトリバーを 1 または 2 に切り換えると、音量が少し小さくなります。音量は、1 より 2 のほうがより小さくなります。2 の設定のままご自身で音量を大きくした場合は、OFF にする際に注意してください。音量が突然大きくなったように聞こえます。

ワイド画面を設定する

WIDE

iPod でビデオを再生中に、表示モードをワイド (16 : 9) に切り換えることができます。

1 ワイド画面設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、WIDE を選ぶ

2 ワイド画面を ON にする

ロータリーコマンドーを押す。
もう一度押すと OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

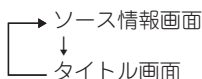
ソース情報画面／タイトル画面を表示する

別売のモニターに、さまざまな情報／タイトルを表示できます。

1 画面を切り換える

⏪/DISP/SCRL ボタンを押す

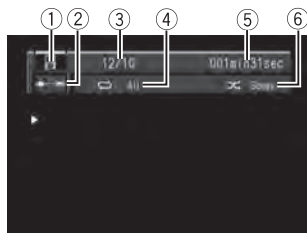
ボタンを押すごとに、次のように画面が切り換わります。



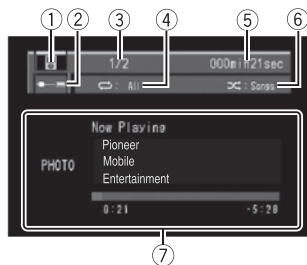
メモ

- ビデオ再生時は、切り換えできません。

ソース情報画面



タイトル画面



① ソースの種類

② 給電状態

iPod への給電状態が表示されます。

③ 曲番号

④ 再生範囲

⑤ 再生経過時間

⑥ シャッフル設定

⑦ タイトルリスト

以下のタイトルリストが表示されます。

アルバムアート

曲名

アーティスト名

アルバム名

再生経過時間

メモ

- タイトルの文字表示は、英数字のみに対応しています。
- タイトル画面の文字情報はスクロールしません。
- iPod の曲にアルバムアートが登録されていない場合は、PHOTO と表示されます。
- 別売モニターの表示を切り換えても、本機のディスプレイの表示内容は切り換わりません。

マルチ CD のふだんの操作

1 ソースをマルチ CD にする

SRC/OFF ボタンを押す
(⇒「基本的な操作」16 ページ)

2 ディスクを切り換える

▲ / ▼ ボタンを押す

次のディスクを選ぶとき：▲ ボタンを押す
前のディスクを選ぶとき：▼ ボタンを押す

3 曲を選ぶ (または早送り / 早戻しする)

◀ / ▶ ボタンを押す

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：▶ ボタンを押す
前の曲を選ぶ：◀ ボタンを押す

■ 早送り / 早戻しするとき

早送り：▶ ボタンを長く押す
早戻し：◀ ボタンを長く押す

4 ほかのソースに切り換えるか、電源をOFFにする

SRC/OFF ボタンを押す (または長く押す)
(⇒「基本的な操作」16 ページ)

 知っていると便利

- 1/S.Rtrv/DVD MENU ~ 6/↔/ANGLE ボタン (リモコンの①~⑥ ボタン) を押して、聞きたい CD を選ぶこともできます。7 ~ 12 枚目の CD を選ぶ場合は、1/S.Rtrv/DVD MENU ~ 6/↔/ANGLE ボタン (リモコンの①~⑥ ボタン) を長く押します。
- 内蔵 DVD 同様に、曲を直接選ぶことができます (ダイレクトサーチ)。(⇒「チャプター(トラック) を直接指定する」24 ページ)。

 メモ

- CD TEXT に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) に CD TEXT をセットしているときは、タイトル表示やアーティスト名表示にすると、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- マルチ CD が準備動作 (CD の有無の確認や CD の情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチ CD に切り換えると、READY と表示されます。
- マルチ CD 再生中にマルチ CD からマガジンを取り出すと、NO MAGAZINE と表示されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 メインメニューを表示する

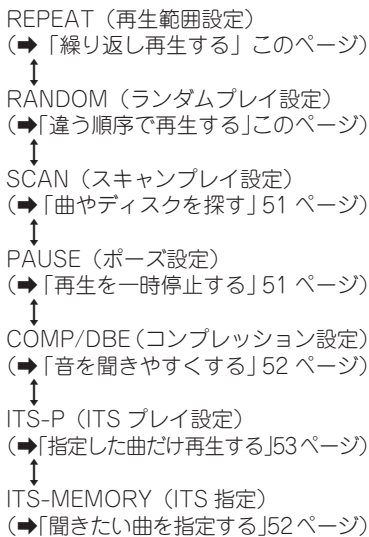
ロータリーコマンドーを押す

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドーを押す。

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



知っていると便利

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、**BAND/ESC** を押します。ITS 指定を選んでるとき以外は、30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。

繰り返し再生する

REPEAT

繰り返し再生する範囲を設定できます。繰り返しの範囲は、いま聞いている曲やディスク全体などから選べます。



設定の内容

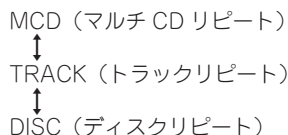
- マルチ CD リPEAT:**
マルチ CD にセットされているすべてのディスクを繰り返し再生します。
- トラックリPEAT:**
再生中の曲を繰り返し再生します。
- ディスクリPEAT:**
再生中のディスクを繰り返し再生します。

1 再生範囲設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、**REPEAT** を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

違う曲順で再生する

RANDOM

曲や CD を順不同 (ランダム) に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選ぶ

ランダムプレイは、再生範囲切替で選んだ範囲で行われます (⇒「繰り返し再生する」このページ)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、RANDOM を選ぶ

3 ランダムプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。

曲やディスクを探す

SCAN

曲やディスクのはじめの部分だけを、約 10 秒ずつ再生できます (スキャン再生)。聞きたい曲やディスクを探すときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでもおく

スキャンプレイは、再生範囲設定で選んだ範囲で行われます
(→「繰り返し再生する」50 ページ)

聞きたい曲を探すとき
(トラックスキャン再生)

CD 内の全曲を、約 10 秒ずつ再生します。
ディスクリピートに切り換えます。

聞きたいディスクを探すとき
(ディスクスキャン再生)

マルチ CD 内の全ディスクの 1 曲目だけを、約 10 秒ずつ再生します。

マルチ CD リピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、SCAN を選ぶ

3 スキャンプレイを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
曲やディスクのはじめの約 10 秒間が次々に再生されます。

スキャンプレイを始めて 30 秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やディスクが再生されたら、スキャンプレイを OFF にする

ロータリーコマンドーを押す

ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順 2 の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドーを押すと、スキャンプレイ設定が OFF になります。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- スキャンプレイを始めた曲 (ディスク) まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

再生を一時停止する

PAUSE

ディスクの再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、PAUSE を選ぶ

2 ポーズを ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



知っていると便利

- ポーズ設定の ON / OFF の切り換えは、リモコン (DVH モード) の ボタンでも操作できます。



3 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されません。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- COMP と DBE のどちらも、1 より 2 のほうが効果が大きくなります。

音を聞きやすくする

COMP/DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。COMP/DBE 機能付きのマルチ CD プレーヤーを接続したときに操作できます。



ご注意

- COMP/DBE 機能のないマルチ CD を組み合わせたときは、NO COMP と表示され、操作できません。



COMP とは

- COMP は、「Compression (コンプレッション)」の略です。大きな音と小さな音の音量差 (ダイナミックレンジ) を小さくします。



DBE とは

- DBE は、「Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)」の略です。車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、COMP/DBE を選ぶ

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押して、回す
回すごとに、次のように切り換わります。

聞きたい曲を指定する

ITS-MEMORY

聞きたい曲だけを再生するために、再生する曲をあらかじめ指定しておきます。



ITS とは

- ITS は、「InstantTrack Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。指定した曲だけを再生できます。ITS の指定は、ITS 解除を行うまで有効です (→「曲の指定を 1 曲ずつ解除する」53 ページ、「曲の指定を CD ごと解除する」54 ページ)。

1 指定したい曲の入った CD を再生する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

2 ITS 指定にする

ロータリーコマンドーを操作して、ITS-MEMORY を選ぶ

3 指定したい曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを押して、回す

4 ITS 指定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

5 選んだ曲を ITS 指定する

ロータリーコマンドーを回して MEMORY を選び、ロータリーコマンドーを押す

COMPLETE と 2 秒間表示され、指定が完了したことを知らせます。

6 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- 曲の指定は CD ごとに行われます。CD を入れ替えても、曲の指定は解除されません。
- CD1 枚につき、99 曲まで指定できます (「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチ CD プレーヤーでは、指定できる曲は 24 曲目までになります)。
- ITS は、タイトル CD100 枚分の指定ができます。
- 100 枚を超えたときは、一番古い指定の内容が解除されて、新しい CD の曲が指定されます。

指定した曲だけ再生する

ITS-P

ITS 指定 (→「聞きたい曲を指定する」52 ページ) で指定した曲だけを再生できます。

1 ITS 再生する範囲を選んでおく

ITS 再生は、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます

(→「繰り返し再生する」50 ページ)

2 ITS プレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、ITS-P を選ぶ

3 ITS 再生を ON にする

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、OFF になります。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- 手順 1 で選んだ再生範囲に指定した曲がない場合は、ITS EMPTY と 2 秒間表示され、ITS 再生は始まりません。

曲の指定を 1 曲ずつ解除する

ITS-MEMORY (解除)

ITS 指定 (→「聞きたい曲を指定する」52 ページ) で指定した曲を 1 曲ずつ解除できます。

1 ITS 再生を ON にする

(→「指定した曲だけ再生する」このページ)

2 ITS 指定にする

ロータリーコマンドーを操作して、ITS-MEMORY を選ぶ

3 指定を解除したい曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを押して、回す

4 ITS 指定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

5 再生している曲の指定を解除する

ロータリーコマンドーを回して DELETE を選び、ロータリーコマンドーを押す

DELETED と 2 秒間表示され、指定が解除されたことを知らせます。

6 ふだんの再生画面に戻る

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- 現在の再生範囲に ITS 指定された曲がなくなった場合は、ITS EMPTY が 2 秒間表示され、ITS 再生が OFF になります。

曲の指定を CD ごとに解除する

ITS-MEMORY (解除)

ITS 指定 (⇒「聞きたい曲を指定する」52 ページ) で指定した曲を CD ごとに解除できます。

1 ITS 再生を OFF にする

(⇒「指定した曲だけ再生する」53 ページ)

2 指定を解除したいCDを再生する

ロータリーコマンドーを上下に操作する

3 ITS 指定にする

ロータリーコマンドーを操作して、ITS-MEMORY を選ぶ

4 ITS 指定画面を表示する

ロータリーコマンドーを 2 回押す

5 再生しているCDの指定を解除する

ロータリーコマンドーを回して DELETE を選び、ロータリーコマンドーを押す。

DELETED と 2 秒間表示され、指定が解除されたことを知らせます。

6 ふだんの再生画面に戻る

BAND/ESC ボタンを押す

タイトルやアーティスト名を表示する

タイトル表示

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。また、隠れている文字をスクロール表示させることもできます。



ご注意

- CD TEXT を再生しているときだけ、操作できます。
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 表示を切り換える

↵/DISP/SCRL ボタンを押す



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、↵/DISP/SCRL ボタンを長く押しします。



メモ

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、NO NAME などと表示されます。

オーディオメニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで操作します。

1 メインメニューを表示する

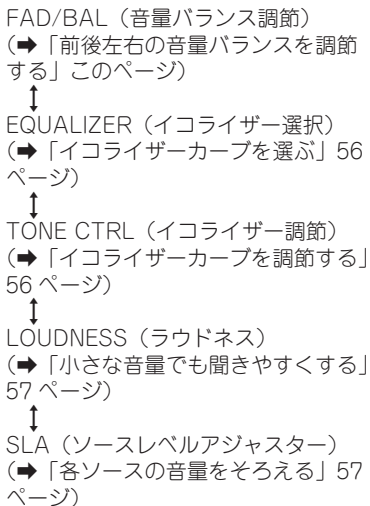
ロータリーコマンドーを押す

2 オーディオ調整メニューにする


ロータリーコマンドーを回してAUDIOを選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



知っているとう便利

- リモコンの  ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。また、約 30 秒間、何も操作しなかったときは自動で戻ります。

前後左右の音量バランスを調節する

FAD/BAL

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 音量バランス調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、FAD/BAL を選ぶ

2 音量バランス調節画面にする

ロータリーコマンドーを押す。

3 調節の対象を切り換える

ロータリーコマンドーを押す
ロータリーコマンドーを押すごとに、FAD (フェーダー) と BAL (バランス) が切り換わります。

4 調節する

ロータリーコマンドーを回す
前後 (FAD) のバランスは、F15 ~ R15 の範囲で調節できます。
左右 (BAL) のバランスは、L15 ~ R15 の範囲で調節できます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

イコライザーカーブを選ぶ

EQUALIZER

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調節できます。イコライザーは、FLAT / POWERFUL / DYNAMIC / VOCAL / NATURAL / CUSTOM の計 6 種類です。

1 イコライザー選択にする

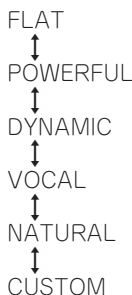
ロータリーコマンドーを操作して、EQUALIZER を選ぶ

2 イコライザー選択画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 イコライザーカーブを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。



4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 ふだんの再生画面に戻る

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- CUSTOM には、好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されています。
- FLAT では、イコライザーによる音の補正は行いません。イコライザーの効果を確認するときに使用すると便利です。

イコライザーカーブを調節する

TONE CTRL

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに、簡単な補正を加えることができます。これにより、より好みに合った音質を作り出すことができます。設定したイコライザーカーブは、自動的にCUSTOM に登録されます。

1 調節のもとになるイコライザーカーブを選ぶ

2 イコライザー調節する

ロータリーコマンドーを操作して、TONE CTRL を選ぶ

3 イコライザー調節画面にする

ロータリーコマンドーを押す

4 調節の対象を切り換える

ロータリーコマンドーを押す
ロータリーコマンドーを押すごとに、BASS (低音域)、MID (中音域)、TREBLE (高音域) が切り換わります。

5 レベル調節する

ロータリーコマンドーを回す
レベルは、+6 ~ -6 の範囲で調節できます。

6 手順3、4の操作を繰り返して、各音域の調節をする

7 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

小さな音量でも聞きやすくする

LOUDNESS

小さな音量で音楽を聞いていると、低音や高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスを使うと、この不足感を補って、音を聞きやすくすることができます。

1 ラウドネスにする

ロータリーコマンドーを操作して、LOUDNESS を選ぶ

2 ラウドネス設定画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 ラウドネスの効果を選ぶ

ロータリーコマンドーを回す
ロータリーコマンドーを回すごとに、次のように切り換わります。

OFF ↔ LOW(効果小) ↔ HIGH(効果大)

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

各ソースの音量をそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

SLA とは

●SLA は、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。

1 ソースレベルアジャスターにする

ロータリーコマンドーを回して、SLA を選ぶ

ご注意

●FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

2 SLA 設定画面にする

ロータリーコマンドーを押す

3 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを回す
レベルは、+4 ~ -4 の範囲で調節できます。

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

●AM と交通情報、内蔵 DVD の DVD ビデオ / DVD-R、内蔵 DVD の DivX / ビデオ CD / CD / WMA / MP3 / AAC、USB / U SB-IPOD、BLUETOOTH / EXTERNAL1 / EXTERNAL2 はそれぞれ同じ設定になります。

本機に「DEQ-P9」を接続している場合

ここでは、本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続している場合の「別売DSP」の機能について説明しています。本機に別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、音質の好みに合わせて調節することができます。

手軽に心地よい音場を演出する

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場を手軽に演出できます。

- イコライザーカーブを選ぶ
- リスニングポジションを選ぶ
- ダイナミックレンジコントロールを使う
- オートタイムアライメント & イコライジングを行う

音場をきめ細かく調節する

次の順に設定や調節することで、好みの音場を作り出すことができます。

- 接続したスピーカーの設定をする
- リスニングポジションを選ぶ
- タイムアライメントを調節する
- テストトーンでスピーカーレベルを調節する
- クロスオーバー周波数を設定する
- スピーカーレベルを調節する
- 3バンドパラメトリックイコライザーを調節する

便利な機能

次の機能は、好みや設定に合わせて操作してください。

- ドルビープロロジックIIを使う
- SFCで音場を再現する
- ダウンミックス機能を使う
- オリジナルの音質で聞く

オーディオ調節メニューの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節メニューを切り換えて操作します。

1 メインメニューを表示する

ロータリーコマンドーを押す


2 オーディオ調整メニューにする

ロータリーコマンドーを回してAUDIOを選び、ロータリーコマンドーを押す

3 機能を切り換える

ロータリーコマンドーを回す

知っていると便利

- リモコンの  ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。テストトーン(TEST TONE)、タイムアライメント調節 (FL)、および3バンドパラメトリックイコライザー (PEQ) を選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。
- DVD、USB 機器、または iPod を再生しているとき以外は、ダイナミックレンジコントロール (DRC) には切り換わりません。
- ダイレクトが ON の間は、音量調節 (ボリュームとアッテネーター) とドルビープロロジックIIのみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- オート TA & EQ (➡「オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に」63 ページ、「オートタイムアライメント&イコライジングを行う」64 ページ) を行っていないと、オートイコライザー (AUTO EQ) に切り換ええたとき、SET A-EQ と表示されます。
- リスニングポジションで「F-L」または「F-R」を選んでいると、タイムアライメント調節 (TA) に切り換ええたとき、CHECK POS1 と表示されます。

前後左右の音量バランスを調節する

FADER (BALANCE)

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節にする

ロータリーコマンダーを操作して、FADER を選ぶ

2 音量バランスを調節する

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

■ 前後を調節するとき

前を強める：▲ ボタンを押す

後ろを強める：▼ ボタンを押す

F25 ~ R25 の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：▶ ボタンを押す

左を強める：◀ ボタンを押す

L25 ~ R25 の範囲で調節できます。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

リスニングポジションを選ぶ

POSITION

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション (聞く位置) を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

リスニングポジションとは

- リスニングポジションは、座席位置や人数に合わせて、各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルを自動的に調節する機能です。SFC 機能と組み合わせることで、全身を包むような豊かな音場を体感することができます (→「SFC で音場を再現する」61 ページ)。

設定の内容

F/R (Front Right) :

右ハンドルに運転者のみがいるとき

F/L (Front Left) :

左ハンドルに運転者のみがいるとき

FRT (Front Seat) :

同乗者が助手席にいるとき

ALL (All Seat) :

同乗者が後部座席にいるとき

1 リスニングポジションにする

ロータリーコマンダーを操作して、POSITION を選ぶ

2 乗車位置を選ぶ

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを押す

同じボタンを押すごとに ON / OFF します。

F/R : ▶ ボタンを押す

F/L : ◀ ボタンを押す

FRT : ▲ ボタンを押す

ALL : ▼ ボタンを押す

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

ドルビープロロジック II を使う

PL II

2 チャンネルの音声を 5 チャンネルに拡張して再生することができます。オリジナル録音の空間情報から、より立体的なサラウンド空間を作り出す機能です。音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しむことができます。

ドルビープロロジック II の ON / OFF

- 2 チャンネルの音声で 5.1 チャンネルに適した SFC (MUSICAL, DRAMA, ACTION) を選んだ場合、ドルビープロロジック II を ON にすることをおすすめします。また、2 チャンネルに適した SFC (JAZZ, HALL, CLUB) を選んだ場合、ドルビープロロジック II を OFF にすることをおすすめします。



設定の内容

MOVIE :

映画やTVドラマなどのステレオ音声を、5.1チャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC :

広く深い音場を表現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。

ミュージックモードのパラメーターを調節することで、好みに合わせた空間表現を得ることができます (→「ミュージックモードを調節する」このページ)。

MATRIX :

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサラウンド再生になります。FMなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

OFF :

ドルビープロロジックIIをOFFにします。

1 ドルビープロロジックIIにする

ロータリーコマンドーを操作して、PLIIを選ぶ

2 好みのモードを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- スピーカー設定 (→「接続したスピーカーの設定をする」65ページ) で、センタースピーカーとリアスピーカーがOFFに設定されているときは、ドルビープロロジックIIには切り換わりません。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロロジックIIをONにするると、次のような現象が起こることがあります。
*センタースピーカーの設定をSMLやLRGにしている場合、センタースピーカーだけから音が出ることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出されることがあります。
- ドルビープロロジックIIは、48kHzまでのサンプリング周波数で動作します。

ミュージックモードを調節する

PANO(ドルビープロロジックIIミュージックモード)

ドルビープロロジックIIのミュージックモードでは、パラメーター (パノラマ、ディメンション、センター幅) を調節することができます。



ご注意

- ドルビープロロジックIIでMUSICを選んだときだけ、ドルビープロロジックIIミュージックモードに切り換わります (→「ドルビープロロジックIIを使う」59ページ)。



設定の内容

パノラマ :

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して、包み込みの効果を大きくします。

ディメンション :

広音場の位置をフロント側、リア側に細かく調節します。-3~+3の間で調節します。+はフロント側に、-はリア(サラウンド)側に音を移動します。

センター幅 :

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーにどのように振り分けるかを0~7の間で設定します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0は、センタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

1 ドルビープロロジックIIミュージックモードにする

ロータリーコマンドーを操作して、PANOを選ぶ

2 調節したいパラメーターを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

3 選んだパラメーターを調節する

■ パノラマをON / OFFする

▲ / ▼ ボタンを押す

押すごとにON / OFFします。

■ ディメンションを調節する

▲ / ▼ ボタンを押す

-3~+3の範囲で調節できます。

■ センター幅を調節する

▲ / ▼ ボタンを押す

0～7の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

SFC で音場を再現する

OFF (サウンドフィールドコントロール)

SFC では、実際にその演奏会場にいるかのようなりアルな音場を再現することができます。

メモ

● 演奏会場は、会場ごとに独特の雰囲気があります。これは、会場の広さや形状、残響特性が異なるため、直接音・初期反射音・残響音の長さや質が変化するためです。SFCには、このようなことを考慮した音場空間プログラムが設定されています。

設定の内容

MUSICAL

音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生を楽しむのに適しています。

DRAMA

リアスピーカーの音と一体となって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画を楽しむのに適しています。

ACTION

躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画を楽しむのに適しています。

JAZZ

ジャズクラブでの音場を再現します。ライブ録音の音声などを楽しむのに適しています。

HALL

コンサートホールの音場を再現します。残響音の豊かな響きで、クラシック音楽などを楽しむのに適しています。

CLUB

クラブの音場を再現します。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに適しています。

1 SFC にする

ロータリーコマンダーを操作してOFFを選ぶ

2 音場プログラムを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

ダウンミックス機能を使う

Lo/Ro (ダウンミックス)

ダウンミックスとは、5.1チャンネルの音声を2チャンネル音声に変換する機能のことです。チャンネル数を落として、音声をDVDフォーマットの中で定められた一定基準に従って混合し、再生します。センタースピーカーやサブウーファーを持たないシステムでも、5.1チャンネルの音場感を再現できます。

設定の内容

Lo/Ro

オリジナルの音声が、サラウンド成分のような音声チャンネルを含まない場合に選択します。オリジナルの音声を2チャンネル音声に変換して再生します。

Lt/Rt

オリジナルの音声が、サラウンド成分を含んでいるときに選択します。サラウンド成分を復元(デコード)できるように、2チャンネル音声に変換して再生します。

1 ダウンミックスにする

ロータリーコマンダーを操作して、Lo/Roを選ぶ

2 ダウンミックスの設定を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、Lo/RoとLt/Rtが切り換わります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

ダイナミックレンジコントロールを使う

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅のことです。ダイナミックレンジコントロールを ON にすると、この幅が圧縮され、音量を下げて楽しむ場合にも小さな音を聞き取りやすくすることができます。



ご注意

- DVD、USB 機器、または iPod を再生しているとき以外は、ダイナミックレンジコントロールには切り換わりません。

1 ダイナミックレンジコントロールにする

ロータリーコマンドーを操作して、DRC を選ぶ

2 ダイナミックレンジコントロールを ON にする

- ▲ ボタンを押す
- ▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

オリジナルの音質で聞く

DIRECT (ダイレクト)

各種オーディオの設定を一時的に無効にすることができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。



ご注意

- ダイレクトが ON の間は、音量調節（ボリュームとアッテネーター）とドルビープロロジック II のみ有効です。その他のオーディオ調節はできません。
- 2チャンネルのリニア PCM または 2チャンネルのドルビーデジタル音声では、フロントスピーカー（左右）以外からは、音声が出されません。

1 ダイレクトにする

ロータリーコマンドーを操作して、DIRECT を選ぶ

2 ダイレクトを ON にする

- ▲ ボタンを押す
- ▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA (ソースレベルアジャスター)

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLA とは

- SLA は、「SourceLevel Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。



ご注意

- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- ダイレクトの設定が ON のときは、SLA には切り換わりません (➡「オリジナルの音質で聞く」このページ)

1 ソースレベルアジャスターにする

ロータリーコマンドーを操作して、「SLA」を選ぶ

2 レベルを調節する

- ▲/▼ ボタンを押す
- レベルを大きくするとき：▲ ボタンを押す
レベルを小さくするとき：▼ ボタンを押す
- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

3 ぶだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- AM と交通情報、内蔵 DVD の DVD ビデオ / DVD-R、内蔵 DVD の DivX / ビデオ CD / CD / WMA / MP3 / AAC、USB / USB-IPOD、BLUETOOTH / EXTERNAL1 / EXTERNAL2 はそれぞれ同じ設定になります。

オートイコライザーを ON / OFF する

AUTO EQ

オート TA & EQ (→「オートタイムアライメント&イコライジングを行う」64 ページ) で作成した、オートイコライザーカーブを ON / OFF することができます。

ご注意

- オート TA & EQ (→「オートタイムアライメント&イコライジングを行う」64 ページ) を行っていないと、SET A-EQ と表示されてオートイコライザーの操作はできません。

1 オートイコライザーにする

ロータリーコマンドーを操作して、AUTO EQ を選ぶ

2 オートイコライザーをONにする

- ▲ ボタンを押す
- ▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3 ぶだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

オートタイムアライメント & イコライジングを行う前に

オート TA & EQ

音響特性の最適な自動補正とは

車内空間には、その形状や材質、スピーカーの取付位置、聞く位置など、さまざまな制約があります。このため、ホームオーディオに比べて音響特性が大きく乱れています。この乱れを補正するには一般的に、イコライザーなどを使用します。また、音響特性を最適にする場合は、音響測定器などの道具や音質調節の熟練した技術が必要です。

音響特性を最適に自動補正するために、「DEQ-P9」はオート TA & EQ 設定という機能を備えています。オート TA & EQ 設定を使うと、音響特性測定用マイクを所定の位置に取り付けるだけで、複雑で難しい音響調節を「DEQ-P9」が自動で行います。

オート TA & EQ 設定のうち、車室内の音響特性を乱れが少なく滑らかな状態に最適化するのがオート EQ です。また、各スピーカーから乗車位置までの距離を測定し、音声の到達時間を補正するのがオート TA です。オート TA とオート EQ によって、それぞれの車にとって最良の音響特性を手軽に実現できます。



走行中にオート TA & EQ 設定を行わない



自動車が行走中にオート TA & EQ 設定を行わないでください。オート TA & EQ 設定は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカーの破損を防止するために

次の状態でオート TA & EQ 設定を行うと、スピーカーが破損することがあります。オート TA & EQ 設定を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている。
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している。

**オート TA & EQ 設定前に必ず行うこと**

オート TA & EQ 設定を効果的に行うために、いくつかの準備が必要です。以下を参照して、正しく準備してください。

- なるべく静かな場所に車を停車する。
- 車のエンジン／エアコン／ヒーターを OFF にする。エアコンやヒーターのファンの騒音によって、オート TA & EQ 設定が実行できないことがあります。
- 携帯電話や車載電話の電源を切る。または、車の外に持ち出す。
- 「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを用意する。それ以外のマイクでは、音響特性が正しく測定されません。
- フロントスピーカーを接続する。
- フロントスピーカーのミュートを解除する。
- リスニングポジションを設定する (→「リスニングポジションを選ぶ」59 ページ)。リスニングポジションを F/R または F/L 以外に設定したときは、オート TA & EQ 設定を始めると強制的に F/R に設定されます。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合は、入力レベルを推奨位置に合わせる。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合は、ローパスフィルターを OFF にする。
- ローパスフィルター付きのパワードサブウーファーを接続している場合は、ローパスフィルターのカットオフ周波数を最も高い値に設定する。

**オート TA & EQ 設定で変更される設定**

- オート TA & EQ 設定を行うと、オーディオの設定が次のように変更されます。
 - ・前後左右の音量バランス (→「前後左右の音量バランスを調節する」59 ページ)：初期設定に戻る。
 - ・イコライザーカーブ (→「イコライザーカーブを選ぶ」70 ページ)：FLAT に設定される。
 - ・リスニングポジション (→「リスニングポジションを選ぶ」59 ページ)：F/R に設定される。(F/L に設定していた場合は、F/L のまま)

**ご注意**

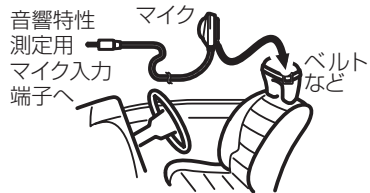
- 再度オート TA & EQ 設定を行うと、前回の調節内容は消去されます。
- オート TA & EQ 設定で測定されたタイムアライメントの値は、コンピューターが算出した正確な遅延時間に基づくものです。次のような場合に実際の距離と異なることがありますが、そのままご使用ください。
 - ・車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている。
 - ・パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている。

オートタイムアライメント & イコライジングを行う**オート TA & EQ の設定****1****計測する環境を整える**

- 静かなところに車を停車させる。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉める。
- 車のエンジンを停止させる。
- エアコンやヒーターを OFF にする。

2**「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクをセットする**

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に、「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定する

**ご注意**

- マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がるおそれがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3**車のエンジンスイッチをACC またはONにする****ご注意**

- 車のエアコンやヒーターが ON になっている場合は、OFF にしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオート TA & EQ が実行できないことがあります。

4**本機の電源を入れる**

SRC/OFF ボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションを選び、マイクをセットした座席を乗車位置に設定する (⇒「リスニングポジションを選ぶ」59 ページ)

メモ

- 乗車位置を F/R または F/L 以外に設定したときは、オート TA & EQ を始めると、強制的に F/R に再設定されます。

6 本機の電源を切る

SRC/OFF ボタンを長く押す

7 オートTA & EQ設定モードにする

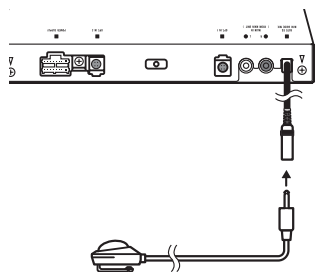
1/S.Rtrv/DVD MENU ボタンを長く押す
AUTO TA/EQ と表示されます。

知っていると便利

- リモコンの [MENU] ボタンを押して、操作することもできます。

8 マイクを「DEQ-P9」に接続する

「DEQ-P9」に付属の音響特性測定用マイクを、音響特性測定用マイク入力端子に接続する



メモ

- オート TA & EQ を始めてから測定が終了するまでに、約 8 分かかります。測定時間は周囲の騒音状態、車両形状、スピーカーの数などにより変わります。

- 音響特性測定用マイク入力端子に、マイクがしっかりと挿入されていない状態でオート TA & EQ を行うと、エラーが生じます。マイクを確実に挿入してから、オート TA & EQ を行ってください。

9 オート TA & EQ を開始する

ロータリーコマンドーを押す
もう一度押すと、途中解除します。

10 車の外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉める

計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、オート TA & EQ が始まりません。

11 オートTA & EQが自動的に終了する

正常に終了すると COMPLETE と表示されます。

オート TA & EQ が終わったら、セットした音響特性測定用マイクを取り外してください。

メモ

- オート TA & EQ を途中でやめたいときは、BAND/ESC ボタンを押すと、強制的に解除することができます。
- マイクをセットする位置により、オート TA & EQ の調節内容が変わります。好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに入れて、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になるおそれがあります。

接続したスピーカーの設定をする

FRONT (スピーカー設定)

スピーカーの接続の有無や接続したスピーカーのサイズ (低音域再生能力) を設定できます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を、ほかのスピーカーから出力できます。また、より再生に適したスピーカーから、低音を出力できます。



スピーカーサイズについて

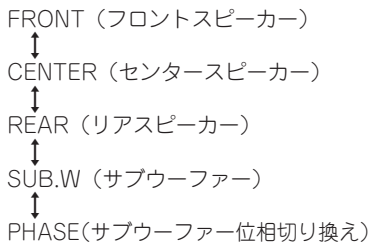
- スピーカーサイズの設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合はLRGに、再生不可な場合はSMLに設定してください。スピーカーの再生周波数帯域については、スピーカーの取扱説明書をご覧ください。
- オートTA & EQを行うときは、スピーカーの設定はON / OFFだけ行ってください。

1 スピーカー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して、FRONTを選ぶ

2 設定したいスピーカーを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す
押すごとに、次のように切り換わります。



3 スピーカーの有無やサイズを設定する

▲ / ▼ ボタンを押す
各スピーカーの設定は、次の中から選ぶことができます。

フロント
LRG / SML
リア・センター
OFF / SML / LRG
サブウーファー
ON / OFF
サブウーファー位相切り換え
(⇒「別売 DSP」このページ)
NOR / REV

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す



メモ

- 接続していないスピーカーの設定は、必ずOFFにしてください。
- サブウーファーを接続していない場合は、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力のある限り、スピーカー設定はLRGを選んでください。フロントとリアの両方のスピーカー設定をSMLにすると、低音が著しく不足した感じになることがあります。
- サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えは選択できません。
- 2チャンネルのモノラルソースを再生しているときにドルビープロジックIIをONにすると、次のような現象が起こることがあります。
* センタースピーカーの設定をSMLやLRGにしている場合、センタースピーカーだけから音が出力されることがあります。また、センタースピーカーを接続しないと、音が出力されないことがあります。

サブウーファーの位相を切り換える

FRONT (スピーカー設定: サブウーファー)

サブウーファーからの低音域の出力を調節しても低音域がよく聞こえてこなかったり、逆に小さくなったように感じた場合、他のスピーカーの低音域と打ち消し合っていることがあります。位相を切り換えることで、この現象を防ぎ低音域を聞きやすくすることができます。



ご注意

- サブウーファーをOFFにすると、サブウーファー位相切り換えは選択できません(⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)。

1 スピーカー設定にしてサブウーファーの位相切り換えを選ぶ

(⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)

2 サブウーファーの位相を選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す
NOR (正相): ▲ ボタンを押す
REV (逆相): ▼ ボタンを押す

3 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

クロスオーバー周波数を設定する

HPF (クロスオーバー周波数)

クロスオーバー周波数は、サブウーファーやスピーカーサイズを SML に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また、SML に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、音量が抑えられた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。

サブウーファーを接続していない場合、音量が抑えられた低い音域は LRG に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

📌 ご注意

- スピーカー設定（➡「接続したスピーカーの設定をする」65 ページ）で OFF に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 クロスオーバー周波数にする

ロータリーコマンダーを操作して、HPF を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

F (フロントスピーカー)
↓
C (センタースピーカー)
↓
R (リアスピーカー)
↓
SW (サブウーファー)

3 クロスオーバー周波数を選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

スピーカーレベルを調節する

FRONT-L (スピーカーレベル調節)

テストトーンで行った各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

📌 ご注意

- スピーカー設定（➡「接続したスピーカーの設定をする」65 ページ）で OFF に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1 スピーカーレベル調節にする

ロータリーコマンダーを操作して、FRONT-L を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

FRONT-L (フロント左スピーカー)
↑
CENTER (センタースピーカー)
↓
FRONT-R (フロント右スピーカー)
↓
REAR-R (リア右スピーカー)
↓
REAR-L (リア左スピーカー)
↓
SUB.W (サブウーファー)

3 レベルを調節する

▲ / ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲ ボタンを押す
レベルを小さくするとき：▼ ボタンを押す
- 10 ~ + 10 の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻る

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- この操作で調節した出力レベルは、テストトーン（⇒「テストトーンでスピーカーレベルを調節する」68ページ）で調節したレベルと同じ値になります。

テストトーンでスピーカーレベルを調節する

TEST TONE (テストトーン)

テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

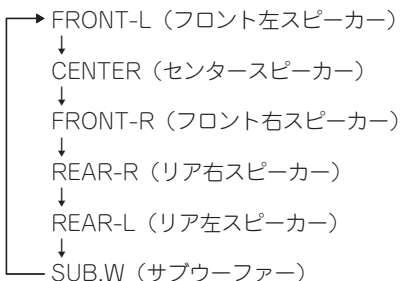
1 テストトーンにする

ロータリーコマンドーを操作して、TEST TONE を選ぶ

2 テストトーン出力を開始する

▶ ボタンを押す

約 2 秒ずつ、次の順で切り換わります。



3 レベル調節をする

▲ / ▼ ボタンを押す

レベルを大きくするとき：▲ ボタンを押す
レベルを小さくするとき：▼ ボタンを押す
- 10 ~ + 10 の範囲で調節できます。

4 テストトーン出力を停止する

◀ ボタンを押す

5 ふだんの再生画面に戻る

BAND/ESC ボタンを押す

メモ

- この操作で調節した出力レベルは、スピーカーレベル調節（⇒「スピーカーレベルを調節する」67ページ）で調節したレベルと同じ値になります。
- スピーカー設定（⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ）で、OFF に設定したスピーカーには切り換わりません。
- レベルを調節している間、テストトーンは次のスピーカーには切り換わりません。

タイムアライメントを選ぶ

INITIAL (タイムアライメント選択)

お好みのタイムアライメントを選ぶことができます。

タイムアライメントとは

- タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

設定の内容

INITIAL
初期設定状態（ご購入直後の状態）
CUSTOM
お好みに合わせて調節したタイムアライメント
AUTO TA
オート TA & EQ で調節したタイムアライメント
TA : OFF
タイムアライメントを OFF にします

 **ご注意**

- オート TA & EQ (⇒「オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に」63 ページ、「オートタイムアライメント&イコライジングを行う」64 ページ)を行っていないと、SET A-TA と表示されます。

- スピーカー設定 (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65 ページ)で OFF に設定したスピーカーを選ぶことはできません。
- リスニングポジションで F/R か F/L を選んでいないと、CHECK POSI と表示されます。

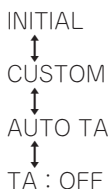
1 タイムアライメントを選ぶ

ロータリーコマンドーを操作して、INITIAL を選ぶ

2 タイムアライメントを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

**3 ふだんの再生画面に戻す**

BAND/ESC ボタンを押す

タイムアライメントを調節する

FL (タイムアライメント調節)

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。リスニングポジション (⇒「リスニングポジションを選ぶ」59 ページ) を設定することで自動的に設定されますが、タイムアライメントではさらに厳密な調節をすることができます。

 **ご注意**

- タイムアライメントで OFF を選んでいるときは、タイムアライメント調節には切り換わりません。

1 調節するタイムアライメントを選ぶ

(⇒「タイムアライメントを選ぶ」68 ページ)

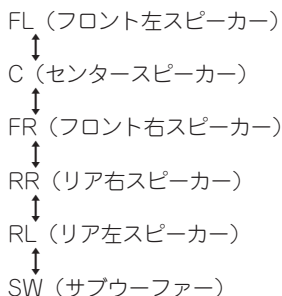
2 タイムアライメント調節にする

ロータリーコマンドーを操作して、FL を選ぶ

3 各スピーカーの距離を調節する**■ 調節するスピーカーを選ぶ**

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。

**■ 距離を調節する**

▲ / ▼ ボタンを押す

距離を遠くするとき：▲ ボタンを押す

距離を近くするとき：▼ ボタンを押す

0.0 (cm) ~ 500.0 (cm) の範囲で調節できます。

4 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

イコライザーカーブを選ぶ

POWERFUL (イコライザー選択)

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から、好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。



CUSTOM1 とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(内蔵 DVD とマルチ CD、エクスターナルユニット 1 と 2 は同じ設定になります。) CUSTOM2 以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に CUSTOM1 に登録されます。



CUSTOM2 とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。CUSTOM2 を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。



FLAT とは

- イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1

イコライザー選択にする

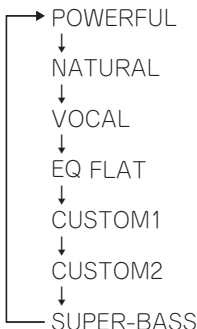
ロータリーコマンドーを操作して、POWERFUL を選ぶ

2

イコライザーカーブを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。



3

ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

3 バンドパラメトリックイコライザーを調節する

PEQ(3バンドパラメトリックイコライザー)

CUSTOM1 と CUSTOM2 は、フロント/リア/センターのイコライザーカーブを別々に調節することができます。各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えを行うことができます。



イコライザーの調節について

- センタースピーカーは、音像を定位置せるのに影響が大きいスピーカーです。このため、ほかのスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声 (CD など) を再生し、センターを除くすべてのスピーカーのバランスを調節したあと、5.1チャンネルの音声 (ドルビーデジタルや DTS) を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節するとスムーズに行うことができます。



中心周波数について

- 各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り換えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。



ご注意

- スピーカー設定 (▶ 「接続したスピーカーの設定をする」65 ページ) で OFF に設定したスピーカーを選ぶことはできません。

1

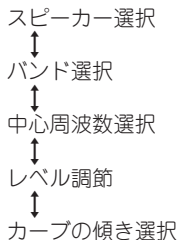
3バンドパラメトリックイコライザーにする

ロータリーコマンドーを操作して、PEQ を選ぶ

2 スピーカー選択モードを選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す

押すごとに、次のように切り換わります。



3 スピーカーを選ぶ

▲ / ▼ ボタンを押す

FRONT (フロント)、CENTER (センター)、REAR (リア) の中から選ぶことができます。

4 バンドを選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ / ▼ ボタンを押す

LOW (低音)、MID (中音)、HI (高音) の中から選ぶことができます。

5 中心周波数を選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ / ▼ ボタンを押す

高い周波数を選ぶとき：▲ ボタンを押す

低い周波数を選ぶとき：▼ ボタンを押す

40、50、63、80、100、125、160、200、250、315、400、500、630、800、1K、1.2K、1.6k、2K、2.5K、3.1K、4K、5K、6.3K、8K、10K、12K (Hz) の中から選ぶことができます。

6 レベルを調節する

▶ ボタンを押してから、▲ / ▼ ボタンを押す

強めるとき：▲ ボタンを押す

弱めるとき：▼ ボタンを押す

-6 ~ +6 の範囲で調節できます。

7 カーブの傾きを選ぶ

▶ ボタンを押してから、▲ / ▼ ボタンを押す

WID を選ぶとき：▲ ボタンを押す

NAR を選ぶとき：▼ ボタンを押す

8 手順2 ~ 7を繰り返して、各スピーカーの各バンドを同様に調節する

9 ふだんの再生画面に戻す

BAND/ESC ボタンを押す

DVD 設定メニューの切り換えかた

音声、字幕、視聴制限など内蔵 DVD の設定を変更することができます。



ご注意

- DVD 設定は、別売のモニターの使用時だけ操作できます。
- 本書では、リモコンを使用した場合の DVD 設定について説明しています。リモコンで操作するときは、操作モードを DVD モードに設定してください。(→「リモコンの準備」10 ページ)

1 ソースをDVD (内蔵DVD) に切り換える

SRC/OFF ボタンを押す

2 ディスクの再生を停止する

□ ボタンを押す

3 DVD 設定メニューにする

Ⓜ ボタンを押す



知っていると便利

- 設定画面の表示中に Ⓜ ボタンを押すと、DVD 設定メニューの画面に戻ります。
- DVD 設定メニューの画面、設定画面の表示中に Ⓜ ボタンを押すと、再生停止の状態に戻ります。

4 DVD 設定のカテゴリを選ぶ

サムパッドを左右に操作する

サムパッドを左右に操作すること、次の順序でカテゴリが切り換わります。

言語 ↔ 映像 ↔ 一般

5

設定項目を選ぶ

サムパッドを上下に操作する

サムパッドを上下に操作すること、次の順序で項目が切り換わります。

■ 言語

基本字幕
(→「基本字幕を設定する」73 ページ)
↓
基本音声
(→「基本音声を設定する」73 ページ)
↓
メニュー言語
(→「メニュー言語を設定する」74 ページ)
↓
OSD 言語選択
(→「OSD の言語を設定する」74 ページ)
↓
文字コード選択
(→「文字の種類を設定する」74 ページ)

■ 映像

マルチアングル表示
(→「マルチアングルマーク表示を設定する」75 ページ)
↓
テレビアスペクト
(→「画面の縦横比を設定する」75 ページ)
↓
スライドショー時間設定
(→「スライドショーの表示時間を設定する」75 ページ)

■ 一般

視聴制限設定
(→「視聴制限を設定する」76 ページ)
↓
DivX 字幕
(→「DivX のカスタム字幕ファイルを表示する」77 ページ)
↓
IEC デジタル出力
(→「デジタル出力の設定をする」78 ページ)
↓
DivX VOD
(→「DivX VOD の登録コードを確認する」78 ページ)
↓
ダウンサンプリング出力
(→「ダウンサンプリング周波数を設定する」78 ページ)

6 選んだ項目の設定画面を表示する

サムパッドを押す

設定画面で **[MENU]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

基本字幕を設定する

基本字幕

字幕として優先したい言語を設定することができます。

1 基本字幕の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「基本字幕」を選ぶ

2 基本字幕の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 設定する言語を選ぶ

サムパッドを上下左右に操作する

サムパッドを上下左右に操作して、言語を選んでください。

■「その他」を選んだとき

「その他」を選ぶと、言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード」(➡106ページ)を参照して、4桁の言語コードを①～④ボタンで入力してください。④ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

4 選んだ言語を設定する

サムパッドを押す

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- **[字幕]** ボタンまたは本体の 5/**XX**/SUB TITLE ボタンで、再生中に字幕の言語を切り換えることもできます(➡「再生中に字幕言語を切り換える」26ページ)。
- **[字幕]** ボタンまたは本体の 5/**XX**/SUB TITLE ボタンで字幕の言語を切り換えても、ここでの設定に影響はありません。

基本音声を設定する

基本音声

音声として優先したい言語を設定することができます。

1 基本音声の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「基本音声」を選ぶ

2 基本音声の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作で言語を設定する(➡このページ)

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- **[音声]** ボタンまたは本体の 4/iPod/AUDIO ボタンで、再生中に音声言語を切り換えることもできます(➡「再生中に音声言語を切り換える」25ページ)。
- **[音声]** ボタンまたは本体の 4/iPod/AUDIO ボタンで音声言語を切り換えても、ここで設定に影響はありません。

メニュー言語を設定する

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語として、優先したい言語を設定することができます。

1 メニュー言語の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「メニュー言語」を選ぶ

2 メニュー言語の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順 3 以降を参照し、同様の操作で言語を設定する (⇒ 73 ページ)



メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

OSD の言語を設定する

OSD 言語選択

情報画面、DVD 設定、リストで表示される言語 (OSD) を設定できます。

1 オンスクリーンディスプレイ (OSD) 言語の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「OSD 言語選択」を選ぶ

2 OSD言語の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 言語を設定する

「基本字幕を設定する」の手順 3 以降を参照し、同様の操作で言語を設定する (⇒ 73 ページ)

文字の種類を設定する

文字コード選択

DivX 字幕、情報画面、リストで表示される文字の種類を設定できます。

1 文字の種類の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「文字コード選択」を選ぶ

2 文字の種類の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 文字の種類を設定する

サムパッドを上下に操作する操作ごとに、次のように切り換わります。

```
ISO 8859-1
  ↓
WINDOWS1251
  ↓
ISO 8859-5
```

4 選んだ文字の種類を設定する

サムパッドを押す

マルチアングルマーク表示を設定する

マルチアングル表示

複数のアングルが収録されたディスクで、アングルが切り換えできる場面を再生している間、画面左下にマルチアングルマークを表示することができます。

1 マルチアングルマーク表示の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「マルチアングル表示」を選ぶ

2 オン/オフを切り換える

サムパッドを押す
押すごとにオン/オフが切り換わります。

画面の縦横比を設定する

テレビアスペクト

画面の表示比率を設定します。ディスクに収録された映像(画像)の比率に合わせて設定します。

設定の内容

16:9

ワイドモニターに最適な設定です。

レターボックス

上下に黒い帯のある画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

パンスキャン

左右の切れた画面になります。通常、4:3のモニターで使用します。

1 画面の縦横比の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「テレビアスペクト」を選ぶ

2 画面の縦横比の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 表示比率を選ぶ

サムパッドを上下に操作する
操作するごとに、次のように切り換わります。

16:9



レターボックス



パンスキャン

4 表示比率を設定する

サムパッドを押す

メモ

- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定しても「レターボックス」での再生になります。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivX ファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

スライドショーの表示時間を設定する

スライドショー時間設定

本機は、JPEG ファイルでスライドショーを表示できます。この設定では、スライドショーの表示時間を設定できます。

設定の内容

マニュアル

手動で切り換えます。

10sec

10秒ごとに自動で切り換わります。

20sec

20秒ごとに自動で切り換わります。

30sec

30秒ごとに自動で切り換わります。

1 スライドショー設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「スライドショー時間設定」を選ぶ

2 スライドショーの表示時間設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 表示時間を選ぶ

サムパッドを上下に操作する
操作するごとに、次のように切り換わります。

マニュアル ↔ 10sec ↔ 20sec
↔ 30sec

4 表示時間を設定する

サムパッドを押す

視聴制限を設定する

視聴制限設定

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。

🔍 視聴制限レベルの目安

レベル 8

すべてのディスクを再生します。

レベル 7～2

成人向けのディスクの視聴を制限します。子供向けや、一般向けのディスクを再生します。

レベル 1

子供向けディスクのみ再生します。

📝 メモ

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベルを設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1 視聴制限の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「視聴制限設定」を選ぶ

2 視聴制限の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 暗証番号を入力する

- 数字を入力するとき
①～⑨ ボタンを押す
- カーソルを移動するとき
サムパッドを左右に操作する
- 入力した数字を消すとき
◎ボタンを押す

4 暗証番号を設定する

カーソルを4桁目に移動して、サムパッドを押す

📝 メモ

- 4桁すべてに数字が入力されていないと、ふたたび番号入力画面に戻ります。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくとおすすめます。

5 レベルを選ぶ

サムパッドを左右に操作する
レベルを大きくするとき：右に操作する
レベルを小さくするとき：左に操作する

6 レベルを設定する

サムパッドを押す

レベルを変更する

1 視聴制限の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「視聴制限設定」を選ぶ

2 視聴制限の設定画面を表示する

サムパッドを押す

3 暗証番号を入力し、レベルを設定する

「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、同様の操作でレベルを設定する

暗証番号を忘れたとき

「レベルを変更する」の手順2で、「暗証番号入力」表示中に◎ボタンを10回押す

登録した暗証番号が解除され、入力欄に「—」が表示されます。「暗証番号とレベルを設定する」の手順3以降を参照し、新しい暗証番号を入力してください。

DivX のカスタム字幕ファイルを表示する

DivX 字幕

DivX ファイルには、字幕が収録されているものがあります。また、DivX ファイルに字幕を追加して、ディスクに記録することもできます。ここでは、表示する字幕を設定できます。

設定の内容

オリジナル

あらかじめ DivX ファイルに収録されている字幕を表示します。

カスタム

DivX ファイルを作成したあとに、追加した字幕（カスタム字幕）を表示します。

1 DivX のカスタム字幕ファイル表示の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「DivX 字幕」を選ぶ

2 DivX 字幕を切り換える

サムパッドを押す

押すごとに、「オリジナル」と「カスタム」が切り換わります。

メモ

- 本機はファイル形式「.srt」のカスタム字幕に対応しています。
- カスタム字幕は、1行あたり42文字、3行まで対応しています。
- 1画面に一度に表示できるカスタム字幕の文字数は8文字までです。

デジタル出力の設定をする

IEC デジタル出力

本機のデジタル出力を設定できます。



メモ

- 「リニア PCM」に設定することにより、以下のタイプのディスクを再生する場合、音声の出力方法を切り換えることができます（→「音声の出力方法を切り換える」29ページ）。
 - * Dual Mono モードで記録された DVD ビデオディスク
 - * 2 カ国語で記録された DVD VR ディスク
- 本機の光デジタル出力を接続していない場合、この設定をする必要はありません。



設定の内容

ストリーム

ドルビーデジタルや DTS 信号が出力されます。通常はこの設定にしておきます。

リニア PCM

ドルビーデジタルや DTS 信号を LINEAR PCM 信号に変換して出力されます。

1 光デジタル出力の設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「IEC デジタル出力」を選ぶ

2 出力設定を選ぶ

サムパッドを押す

押すごとに、「ストリーム」と「リニア PCM」が切り換わります。

DivX VOD の登録コードを確認する

DivX VOD

DivX VOD ファイルを再生するとき、その DivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。



DivX VOD とは

- DivX VOD とは、「DivX Video On Demand」の略です。

1 DivX VODの登録コードを選ぶ

サムパッドを操作して、「DivX VOD」を選ぶ

2 登録コードを表示する

サムパッドを押す

DivX VOD の登録コードが表示されます。登録コードは 8 桁の英数字です。

ダウンサンプリング周波数を設定する

ダウンサンプリング出力

96 kHz 以上のサンプリング周波数で収録された音声を 48 kHz に変換して、本機の光デジタル出力から出力できます。通常は、ON に設定してください。本機の光デジタル出力を使用しないときは、設定する必要はありません。

1 ダウンサンプリング設定を選ぶ

サムパッドを操作して、「ダウンサンプリング出力」を選ぶ

2 オン／オフを設定する

サムパッドを押す

押すごとに、オン／オフが切り換わります。

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調節」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源を OFF にした状態で操作します。

1 本機の電源を OFF にする

SRC/OFF ボタンを長く押す

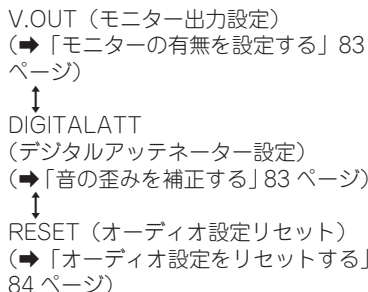
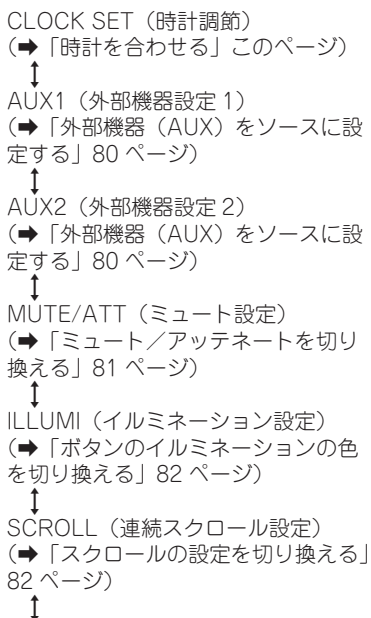
2 初期設定メニューを表示する

ロータリーコマンドを長く押す

3 使いたい機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次のように切り換わります。



知っているとも便利

- リモコンの **[FUNC]** ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND/ESC ボタンを押します。初期設定メニューを解除すると、電源が OFF になります。
- DIGITALATT (デジタルアッテネーター設定) と RESET (オーディオ設定リセット) は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

時計を合わせる

CLOCK SET

本機のディスプレイに表示する時計の調節ができます。

1 初期設定メニューを表示する

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」このページ)

2 時計調節にする

ロータリーコマンドを回して、CLOCK SET を選ぶ

3 時計調節画面を表示する

ロータリーコマンドを押す

4 時計を調節する

■ 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドを押す

■ 時刻を合わせるとき

ロータリーコマンドを回す

分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。

5 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

外部機器 (AUX) をソースに設定する

AUX1/AUX2

本機にポータブル音楽再生機器や VTR、ナビゲーションシステムなどの外部機器を接続して、ソースに設定することができます。

外部機器の接続には、次の 3 通りがあります。

- ① 別売の AUX ケーブルを使用する場合 (AUX1)
- ② 別売の RCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合 (AUX2)
- ③ IP-BUS を使用する場合 (AUX2)
(パイオニア製ナビゲーションシステムのように、IP-BUS 出力を持つパイオニア製品を接続する場合)



ご注意

- AUX2 は、② と ③ のどちらか一方の接続方法で使用できます。両方の接続方法を、同時に使用することはできません。

① 別売の AUX ケーブルを使用する場合

本体の AUX 入力端子 (ø3.5 ミニジャック) に接続します。この場合、接続した外部機器は AUX1 ソースとして認識されます。

② 別売の RCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合

接続する外部機器に RCA 出力がある場合、別売の RCA / IP-BUS インターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用して、本機の IP-BUS 入力端子に接続します。接続した外部機器は、AUX2 ソースとして認識されます。詳しくは、RCA / IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

③ IP-BUS を使用する場合 (パイオニア製ナビゲーションシステムを接続する場合)

別売の IP-BUS ケーブル (例:「CD-IP600」) を使用して、本機の IP-BUS 入力に接続します。接続したナビゲーションシステムは AUX2 ソースとして認識され、音声のみが出力されます。

AUX1 を設定する



設定の内容

AUDIO :

別売の AUX ケーブルを使って、ポータブル音楽再生機器などを接続した場合に設定します。

VIDEO :

別売の AUX ケーブル (例: CD-VRM200) を使って、ポータブル音楽再生機器 (映像再生が可能なもの)などを接続した場合に設定します。

OFF :

使用しない場合に設定します。

1

初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79 ページ)

2

外部機器設定 1 を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、AUX1 を選ぶ

3

外部機器設定画面を表示する

ロータリーコマンドを押す

4

外部機器を設定する

ロータリーコマンドを回す
回すごとに、次のように切り換わります。

AUDIO ↔ VIDEO ↔ OFF

5 ロータリーコマンドーを押し て、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されません。

6 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

AUX2 を設定する

1 初期設定メニューを表示する

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」79ページ)

2 外部機器設定 2 を選ぶ

ロータリーコマンドーを回して、AUX2 を選ぶ

3 外部機器設定画面を設定する

ロータリーコマンドーを押す

押すごとに、ON と OFF が切り換わります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

メモ

- AUX1 は、初期設定が AUDIO になっています。AUX1 を使用しない場合は、OFF にします。

ミュート／アッテネート を切り換える

MUTE/ATT

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートにするかを選べます。

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

設定の内容

MUTE

音量が「0」になります。

ATT - 10 DB

音量を小さく（アッテネート）します。

ATT - 20 DB

音量を小さく（アッテネート）します。

ATT - 20 DB のほうが、アッテネートの効果は大きくなります。

1 初期設定メニューを表示する

(⇒「初期設定メニューの切り換えかた」79ページ)

2 ミュート設定を選ぶ

ロータリーコマンドーを回して、「MUTE/ATT」を選ぶ

3 ミュート設定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

4 ミュート／アッテネーターを 切り換える

ロータリーコマンドーを回す

回すごとに、次のように切り換わります。

MUTE



ATT -10 DB



ATT -20 DB



OFF

5 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

6 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

ボタンのイルミネーションの色を切り換える

ILLUMI

ボタンのイルミネーションの色を、青と赤から選ぶことができます。

1 初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79ページ)

2 イルミネーション設定にする

ロータリーコマンドーを回して、ILLUMI を選ぶ

3 イルミネーション設定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

4 イルミネーションの色を切り換える

ロータリーコマンドーを回す
回すごとに、次の順序で切り換わります。

BLUE (青) ↔ RED (赤)

5 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

6 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

スクロールの設定を切り換える

SCROLL

ディスクのタイトルなどを連続してスクロール表示できます。

1 初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79ページ)

2 連続スクロール設定を選ぶ

ロータリーコマンドーを回して、SCROLL を選ぶ

3 連続スクロール設定画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

4 スクロール設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回す
回すごとに、次のように切り換わります。

OFF ↔ EVER (連続スクロール)

5 ローターコマンドを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

6 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

モニターの有無を設定する

V.OUT

本機に、別売のモニターを接続した場合、モニター出力設定を ON にします。ON にすると、別売モニターに情報画面や DVD や iPod の映像などが表示できます。

1 初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79 ページ)

2 モニター出力設定を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、V.OUT を選ぶ

3 モニター出力設定を切り換える

ロータリーコマンドを押す
押すごとに、ON と OFF が切り換わります。

4 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります。

メモ

- モニター出力の ON / OFF によって、本機の動作が異なります。
 - ・WMA / MP3 / AAC などの圧縮オーディオを再生している場合、ファイルリスト表示は次のようになります。
 - －モニター出力設定が ON のとき、現在再生中のフォルダー内にあるファイル一覧がモニターに表示されます。
 - －モニター出力設定が OFF のとき、ROOT フォルダのファイルが本体の画面に表示されます。
 - ・WMA / MP3 / AAC などの圧縮オーディオでファイルリストを表示している場合、**DISP/SCRL** ボタンの操作は次のようになります。
 - －モニター出力設定が ON のとき、モニターに表示されているリスト表示が解除されます。
 - －モニター出力設定が OFF のとき、1 階層上のリストが本体の画面に表示されます。

音の歪みを補正する

DIGITALATT

イコライザーカーブの調節による音の歪みを抑制することができます。

ご注意

- DIGITALATT (デジタルアッテネーター設定) は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

1 初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79 ページ)

2 デジタルアッテネーター設定を選ぶ

ロータリーコマンドを回して、DIGITALATT を選ぶ

3 デジタルアッテネーター設定画面を表示する

ロータリーコマンドを押す

4 デジタルアッテネーターを設定する

ロータリーコマンドーを回す
回すごとに、HIGHとLOWが切り換わります。

5 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

6 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。



設定の内容

- イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が、歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、「LOW」に切り換えてください。(通常は音質が優れている「HIGH」のままお使いください。)

オーディオ設定をリセットする

RESET

オーディオ設定を出荷時の状態に戻すことができます。



ご注意

- RESET (オーディオ設定リセット) は、本機に 5.1ch 対応・DSP ユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。



リセットされる設定について

- すべてのオーディオ設定がリセットされるわけではありません。リセットされない設定は次のとおりです。
 - ・ボリューム
 - ・リスニングポジション
 - ・音量バランス調節
 - ・SLA
 - ・ダイナミックレンジコントロール
 - ・ダイレクト
 - ・ダウンミックス

1 初期設定メニューを表示する

(→「初期設定メニューの切り換えかた」79 ページ)

2 オーディオ設定リセットを選ぶ

ロータリーコマンドーを回して、RESET を選ぶ

3 オーディオ設定リセット画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す

4 YES を選ぶ

ロータリーコマンドーを回す
オーディオ設定をリセットしないときは、NO を選びます。
BAND/ESC ボタンを押して、キャンセルすることもできます。

5 リセット確認画面を表示する

ロータリーコマンドーを押す
REALLY? と表示されます。
オーディオ設定をリセットしないときは、BAND/ESC ボタンを押します。

6 リセットする

ロータリーコマンドーを押す
COMPLETE と表示され、リセットが完了します。

7 初期設定メニューを解除する

BAND/ESC ボタンを押す
初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります。

瞬時に音を消す

ミュート

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。

1 MUTE ボタンを押す

瞬時に音が消えます
もう一度押すと、解除されます。

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON または OFF のときに表示されます。

1 時計を表示する

TI/CLOCK ボタンを長く押す
もう一度長く押すと、時計表示が解除されます。

メモ

- 時計を合わせるには(→「初期設定」79 ページ)

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンでの操作 DVH

リモコンのボタンで、よく使う機能を直接操作できます。

内蔵 DVD / USB / iPod / マルチ CD のとき

1 再生を一時停止する

リモコンの(⏸)ボタンを押す
もう一度押すと、再生が始まります。

ラジオのとき

1 BSM を始める

リモコンの(📶)ボタンを長く押す
BSM 動作中にもう一度押すと、BSM を解除します。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも操作できます。

1 交通情報を受信する

TI/CLOCK ボタンを押す
もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 交通情報の周波数を選ぶ

◀ / ▶ ボタンを押す
1629 (kHz) を選ぶとき : ▶ ボタンを押す
1620 (kHz) を選ぶとき : ◀ ボタンを押す

メモ 知っていると便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

便利な機能

ナビゲーションの音声を 本機で再生する

デジタル／アナログ切り換え

パイオニア製のナビゲーションシステムと5.1ch対応・DSPユニット(「DEQ-P9」)を光ケーブルで接続して本機と組み合わせるときに、ナビゲーションシステムで選択したソースの音声を、AUX2(外部機器2)として車両のスピーカーから出力することができます。

📌 設定の内容

- ナビゲーションシステムの内蔵DVDを選択しているときは、本機のAUX2(外部機器2)のモードはデジタルにしてください。ナビゲーションシステムのテレビやミュージックサーバーを選択したとき、または本機にナビゲーションシステムを接続しないときは、AUX2(外部機器2)のモードはアナログに設定してください。

📌 ご注意

- この機能は、本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続しているときだけ操作できます。

エクスターナルユニット を使う

📌 エクスターナルとは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品(将来発売されるパイオニア製品など)を接続できます。ただしエクスターナルでは、操作できる機能が限られる場合があります。本機には、2台のエクスターナル製品を接続できます。この場合、エクスターナル1とエクスターナル2が自動で設定されます。

📌 ご注意

- ここでは、エクスターナルユニットの基本的な操作方法だけを説明しています。機能は、接続するエクスターナルユニットによって異なります。機能について詳しくは、エクスターナルユニットの取扱説明書をご覧ください。

ソースとしてエクスターナルユニットを選ぶ

1 SRC/OFFボタンを押して、EXTERNALを選ぶ

ふだんの操作

BAND を押す

BAND を長く押す

◀ / ▶ ボタンを押す

◀ / ▶ ボタンを長く押す

▲ / ▼ ボタンを押す

1 ソースをAUX2にする

SRC/OFF ボタンを押す

2 デジタル／アナログを切り換える

BAND/ESC ボタンを押す

ボタンを押すごとに、DIGITALとANALOGが切り換わります。

📌 メモ

- AUX2ソースを使うには、初期設定(→「外部機器(AUX)をソースに設定する」80ページ)でAUX2をあらかじめONにしておく必要があります。

1 ～ 6 キーに割り当てられた機能を使う

- 1/S.Rtrv/DVD MENU ～ 6/⇄/ANGLE ボタン (リモコンの①～⑥ボタン) を押す

ファンクションメニューの切り換えかた

- 1 ロータリーコマンダーを押す

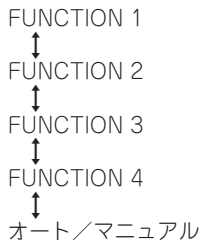
メインメニューが表示されます

- 2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンダーを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンダーを押す

- 3 ロータリーコマンダーを回す

次の順序で機能が切り換わります



メモ

- リモコンの(23) ボタンを押すことでも、FUNCTION1 を ON / OFF することができます。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンを押します。

●接続・取り付け上のご注意

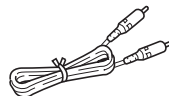
- 車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

●コード関係

電源コード × 1



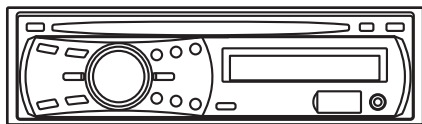
RCA ビデオコード (黄) (3 m) × 1



接続・取り付け部品を確認する

●本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



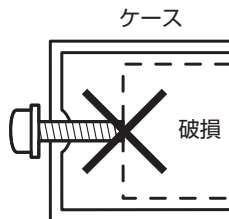
リモコン × 1



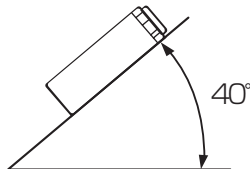
取り付けの前に知ってほしいこと

●取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



●取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

●接続のポイント

IP-BUS の接続について

- IP-BUS および光デジタルラインのコネクターは、接続を間違えないように、入力側が青、出力側が黒に色分けされています。同じ色どうしを接続してください。

ノイズ防止のために

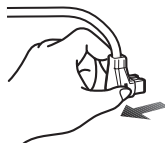
- アンテナコードは、30ピンRGBケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。
- ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、ナビゲーションアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

●コネクターの着脱のしかた

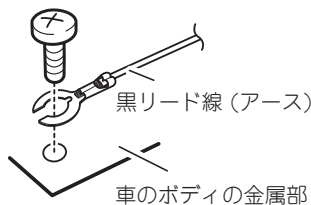
- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続の前に知ってほしいこと

●接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

電源コードを接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注: 赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通してあとの端子に接続してください。

注: 電源コードの、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

ミュート

パイオニア製のナビゲーションシステムなどの別売製品と組み合わせるときに、本機の音量をコントロールするために使用します。(別売製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が自動的に変化します。) 組み合わせた別売製品に黄/黒リード線(セルラームートまたはミュート)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12VDC、300mA以内でご使用ください。)

下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合: 車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合: 車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。) 外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。(12VDC、300mA以内でご使用ください。)

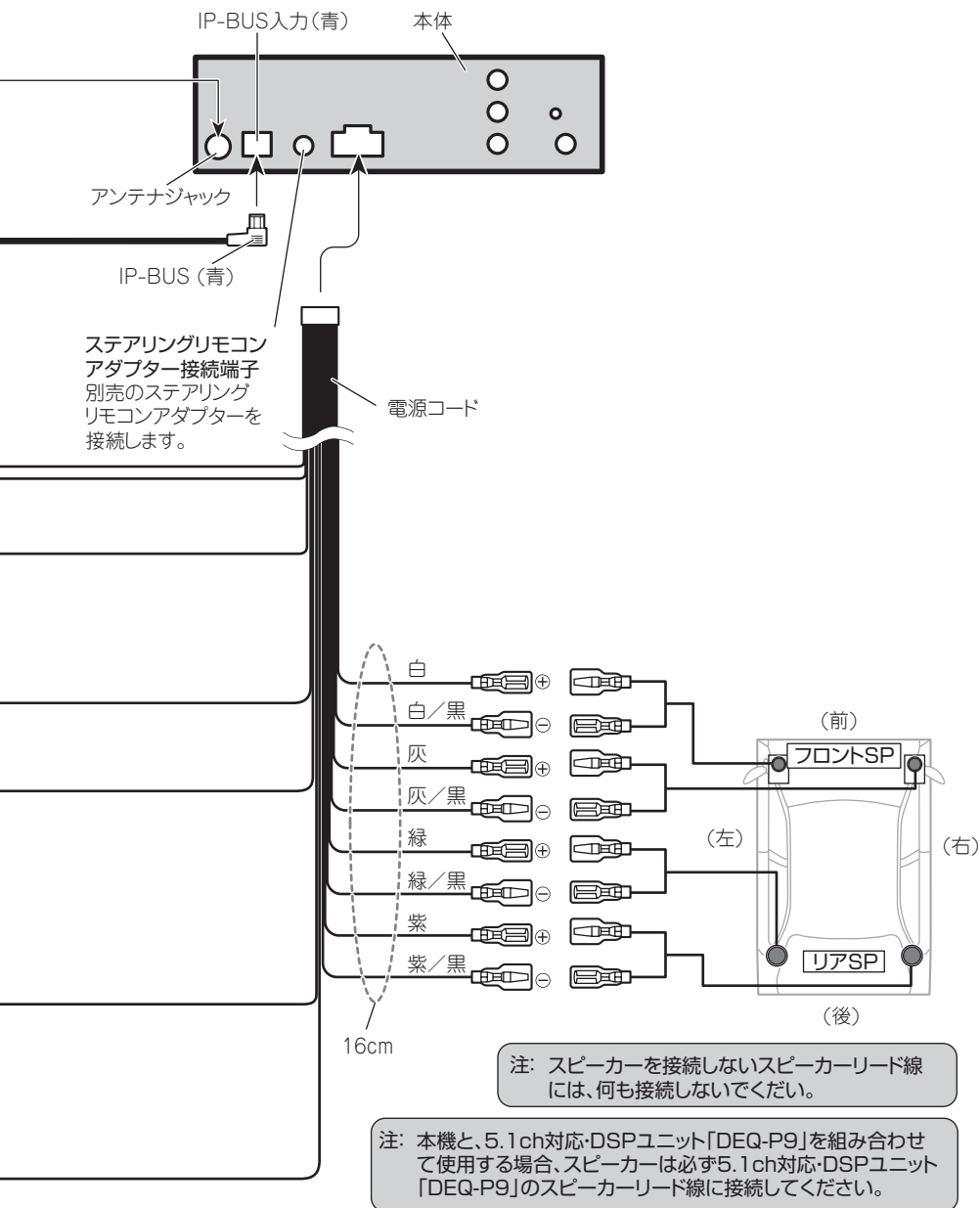


注: 製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。



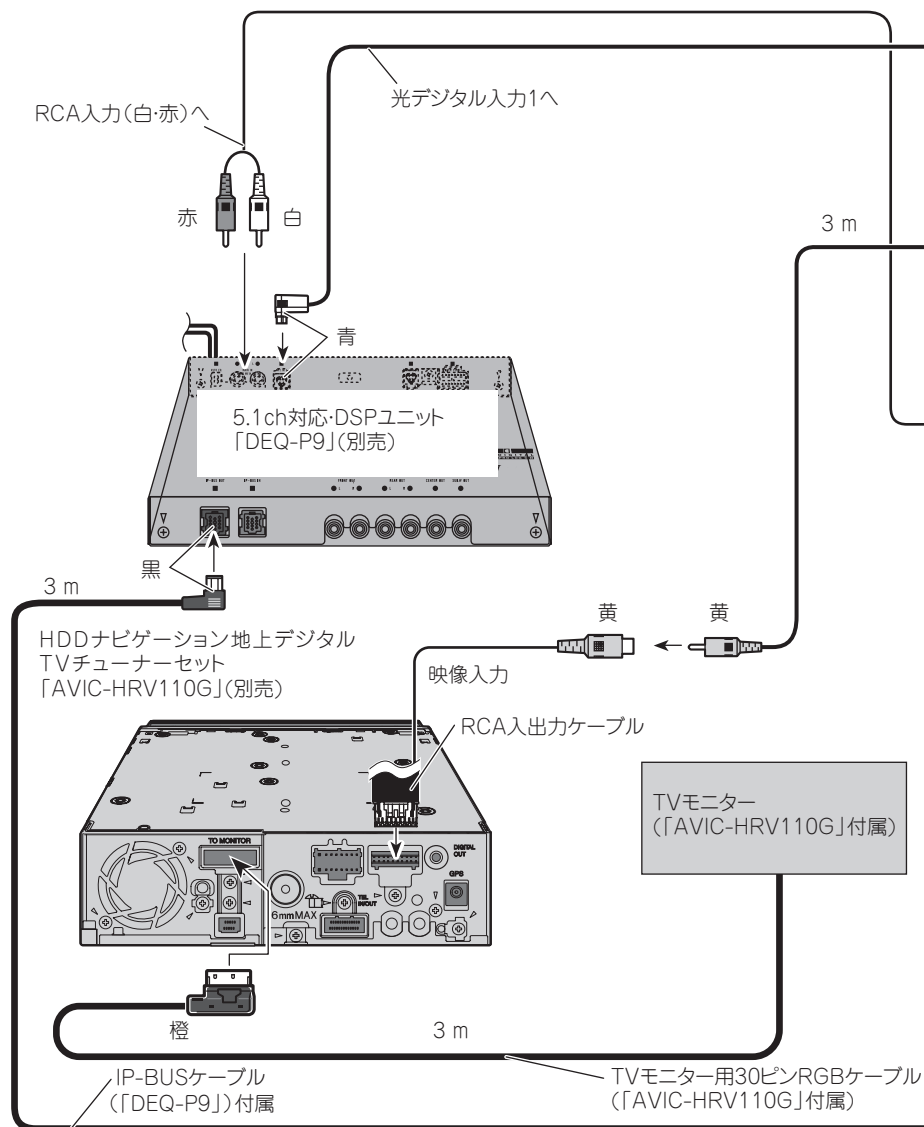
注: ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。





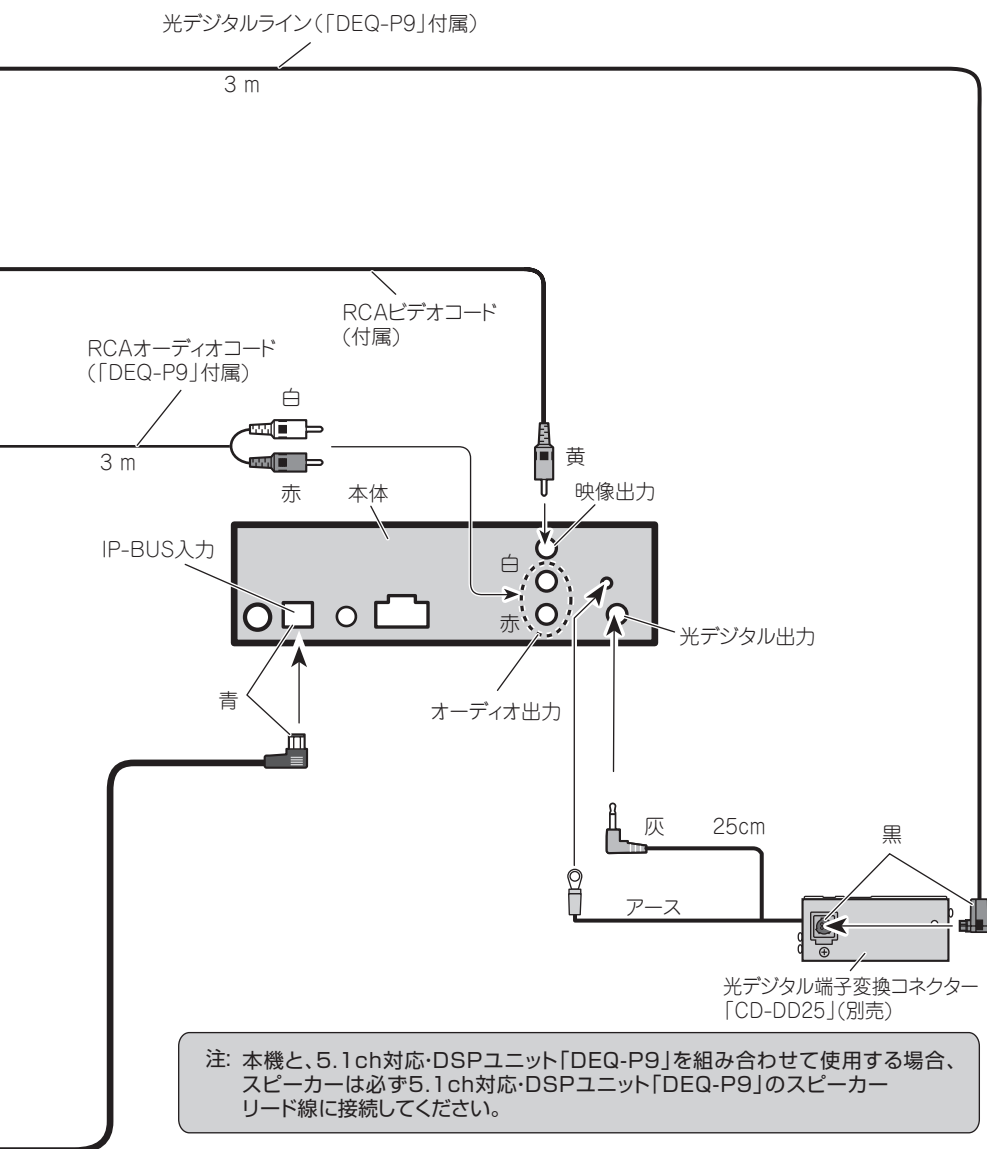
「DEQ-P9」+「AVIC-HRV 110G」と組み合わせる

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



接続・取り付けと動作確認

注: ナビゲーションに付属の地上デジタルTVチューナーとの接続については、「AVIC-HRV110G」に付属の説明書を参照してください。

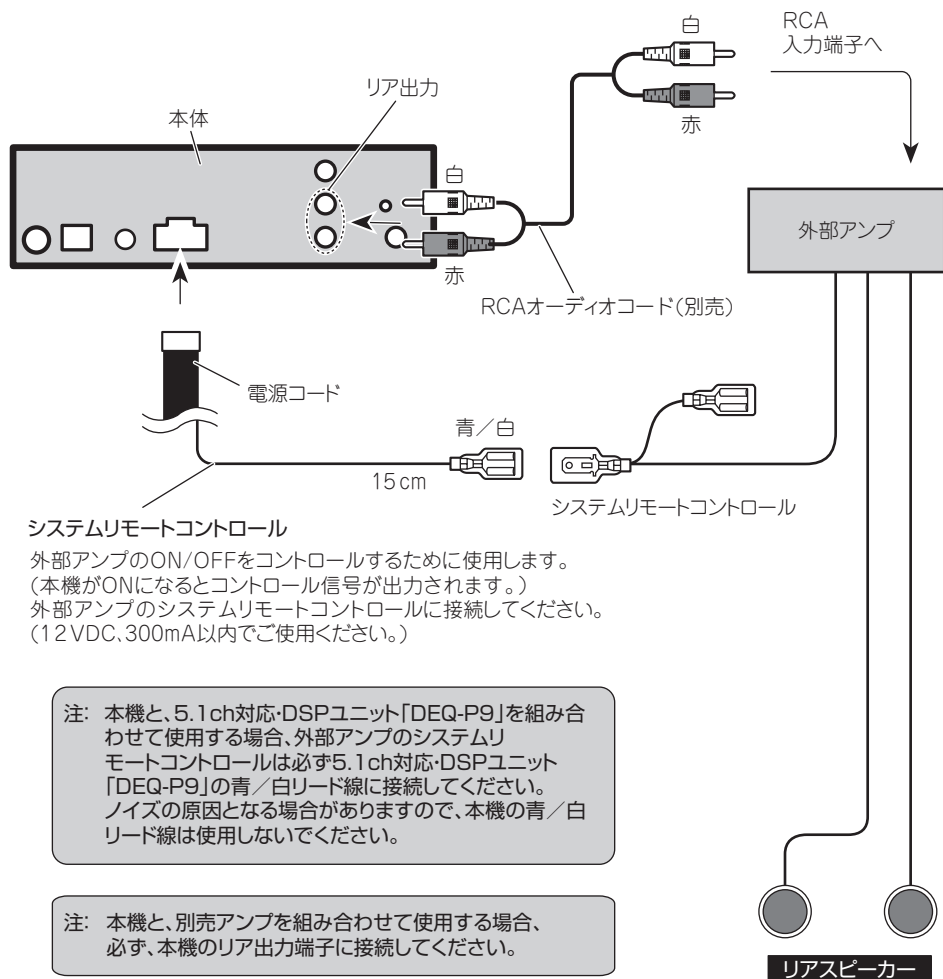


注: 本機と、5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を組み合わせる場合、スピーカーは必ず5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」のスピーカーリード線に接続してください。

注: 本機と、5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を組み合わせる場合、外部アンプのシステムリモートコントロールは必ず5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」の青/白リード線に接続してください。ノイズの原因となる場合がありますので、本機の青/白リード線は使用しないでください。

別売アンプを使ってリアスピーカーを接続する

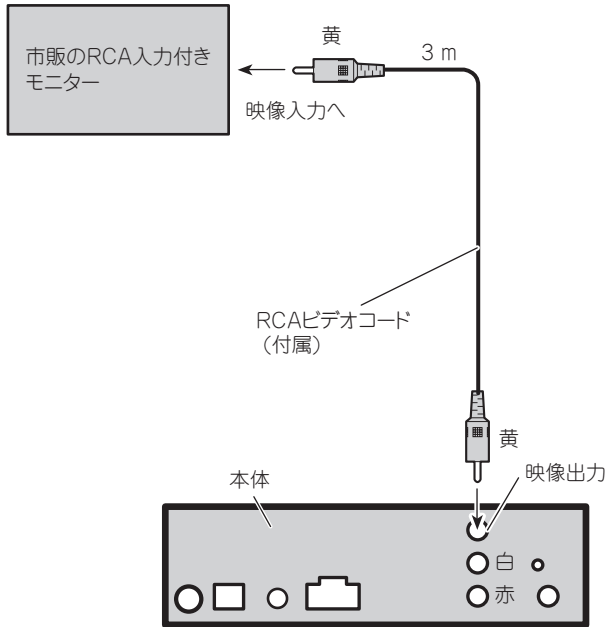
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



接続・取り付けと動作確認

RCA 映像出力の接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



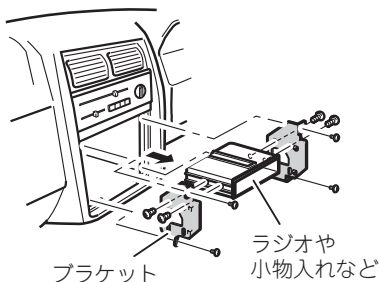
本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



📌 ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

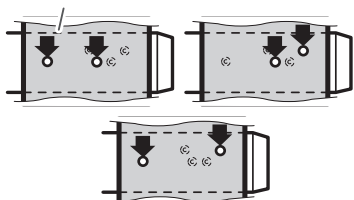
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

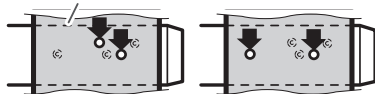
■ トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



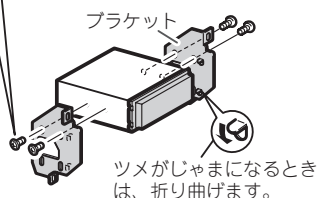
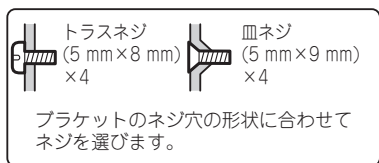
■ 日産車の場合

日産車ブラケット



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見えて確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 本機の動作を確認する

再生できるディスクについて

再生できるディスクの種類

- ・下記マークはディスクのタイトル面やパッケージ、またはジャケットに付いています。
- ・本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ・**DVD**は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

DVD ビデオ



ビデオ CD



CD



ディスクの操作について

DVD によっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止している場合があります。また、メニュー操作や、再生中に対話式的操作が可能なディスクでは、タイトル／チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②))	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。



メモ

- リージョン番号が異なる DVD ビデオディスクは、再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R / RW ディスクの再生に対応しています。ただし、ファイナライズされていないディスクの再生には対応していません。再生する際は、必ずファイナライズしてください。
- ビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R DL（デュアルレイヤー）ディスクの再生に対応しています。ただし、レイヤージャンプモードには対応していません。

- ファイナライズされた DVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクは、録画・編集ができません。
- ビデオフォーマット (ビデオモード) およびビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R / RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- DVD-ROM、DVD-RAM ディスクの再生には対応していません。
- 本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録した CD-R / RW ディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R / RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイナライズされていない CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクには対応していません。
- CD-R / RW、DVD-R / RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R / RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD 規格) で記録されたディスクについて

- 本機は、AVCHD 規格に非対応のため再生できません。ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

本機で再生できるファイルについて

WMA について

WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって、開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

AAC について

AAC データは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。

本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを、AAC ファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a 以外の拡張子の付いた AAC ファイルを再生しないでください。

DivX[®] について

DivX[®] は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified 製品は、DivX のクリエイターによってテストされ、すべてのバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示しています。

● DivX[®] Certified 製品

● 標準の DivX[®] メディアファイル再生機能が付いた DivX[®] ビデオを再生 (DivX[®] 6 以前のバージョンに対応)

本機では、CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW に記録された DivX[®] ファイルを再生できます。

この取扱説明書では、それぞれの DivX[®] ファイルを DVD に合わせて「タイトル」と呼びます。DivX[®] ファイルはディスクに書きこまれた順に再生されますので、ディスクに記録する際はご注意ください。

再生可能な圧縮ファイルについて

WMA ファイル



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。**

- ・ 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。

8 kHz ~ 48 kHz

- ・ 一般的に WMA ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録された WMA ファイルの使用をおすすめします。

5 kbps ~ 320 kbps (CBR)、VBR

- ・ デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルが DRM で保護されている場合、本機では再生できません。
- ・ この製品は、下記の形式には対応していません。

Windows Media Audio Professional (5.1ch)
Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
Windows Media Audio Voice

MP3 ファイル

ご注意

- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
 - MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。**
- ID3 Tag のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 Tag の Ver.1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver.2.X が優先されます。以下のバージョンの ID3 Tag に対応しています。
1.0、1.1、2.2、2.3
 - 再生可能な MP3 ファイルのサンプリング周波数は以下のとおりです。
8 kHz ~ 48 kHz (32 kHz、44.1 kHz、48 kHz のみエンファシス対応)

- 一般的に MP3 ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の MP3 ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps 以上のビットレートで記録された MP3 ファイルの使用をおすすめします。
8 kbps ~ 320 kbps (CBR)、VBR

AAC ファイル

ご注意

- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。**
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
8 kHz ~ 44.1 kHz
- 一般的に AAC ファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録された AAC ファイルの使用をおすすめします。VBR (可変ビットレート) で記録された AAC ファイルは再生できません。
8 kbps ~ 320 kbps
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、ディスクや USB 機器に記録して再生することはできません。
- 本機は、下記の形式には対応していません。
Apple ロスレス・エンコーダ

DivX ファイル

ご注意

- DivX ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.avi または .divx) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.avi または .divx) が付いているファイルを DivX ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、DivX ファイル以外には拡張子 (.avi または .divx) を付けしないでください。**
- 本機は、DivX 規格に準拠した、DivX[®] ビデオフォーマット (コンテンツ) を再生することができます。また、DivX[®] Ultra には対応していません。
 - 映像データが収録されていないファイルは、DivX[®] ファイルと認識できません。
 - DivX[®] ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
 - DivX[®] のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX[®] ファイルの再生は保証していません。
 - DivX[®] VOD ファイルのうち、DRM レンタルファイルを再生している場合は、再生選択後から実際に再生が始まるまでの間、操作できません。
 - 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX[®] ファイルの表示に対応しています。

次のページに続く

- 4 GB を超えるファイルの場合、ファイルの途中までしか再生しません。
- DivX[®] VOD ファイルを再生する場合、その DivX[®] VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。登録コードは（➡「DivX VOD の登録コードを確認する」78 ページ）で確認してください。
- DivX[®] について詳しくは、<http://www.divx.com/> を参照してください。

JPEG ファイル (CD-R/RW、USB のみ対応)



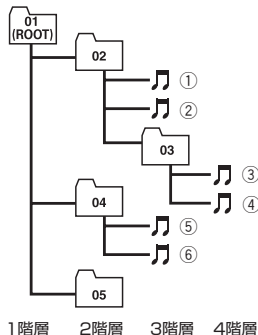
ご注意

- JPEG ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) が付いているファイルを JPEG ファイルとして再生します。故障の原因となりますので、JPEG ファイル以外には拡張子 (.jpg, .jpeg, .jpe または .jif) を付けないでください。
- 解像度が 8 192 × 7 680 までのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています（EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です）。
 - パソコンで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。
 - プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

ディスク上の圧縮ファイルについて

フォルダーと圧縮ファイルについて

- WMA / MP3 / AAC ファイルを収録した CD-R / CD-RW / CD-ROM のイメージは下図のようになります。



- WMA / MP3 / AAC ファイルが記録された CD-R / RW / ROM、DVD-R / RW / ROM の再生に対応しています。CD-R / RW / ROM は、ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。また DVD-R / RW / ROM は、UDF 1.02 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数も 32 文字です。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- 曲間（トラック間）にブランクがない CD を、WMA / MP3 / AAC ファイルとして DVD-R / DVD-RW / CD-R / CD-RW / CD-ROM に記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

対応している圧縮オーディオファイルについて

- USB 機器に収録された WMA / MP3 / AAC ファイルを再生できます。
- 再生できるフォルダー数の合計は、最大 6 000 フォルダーです。
- 再生できるファイル数の合計は、最大 65 535 ファイルです。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数も 32 文字です。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ディスクに、WMA / MP3 / AAC ファイル、DivX ファイル、JPEG ファイル、音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、これらを切り換えて再生できます（⇒「内蔵 DVD のふだんの操作」18 ページ）。再生は一番先頭のファイル / データから始まります。
- WMA / MP3 / AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。（フォルダー番号を表示せず、スキップします。）
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 再生できるフォルダー数の合計は、最大 700 です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大 3 500（DVD-R / DVD-RW）、最大 999（CD-R / CD-RW）です。

USB 機器について

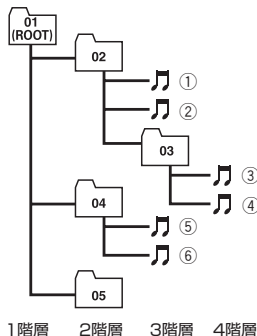
使用できる USB 機器について

ご注意

- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは使用できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB 機器は、USB 延長ケーブル（例：CD-U51E）に直接接続してください。USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。

USB メモリー内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、① ~ ⑥ は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。

次のページに続く

- ・圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- ・再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位で USB メモリーにコピーする。

ただし、パソコンの環境によってはこの方法で指定できない場合もあります。

iPod について



ご注意

- ・iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- ・iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- ・iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。

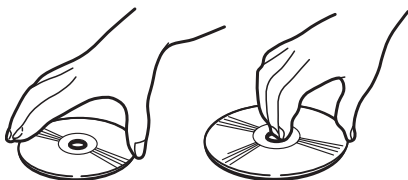
iPod の設定について

- ・音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ 設定を自動的に「Flat」に変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- ・iPod を本機に接続している場合、iPod のリピートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ・ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないようにしてください。

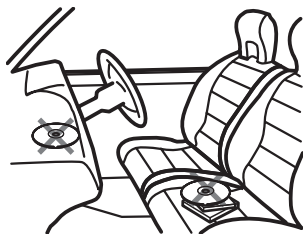


- ・ディスクにキズを付けないでください。
- ・ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

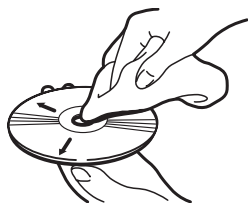
- ・直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ・ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

言語名 (言語コード) 入カコード

アファル語 (aa)0101/ アブハズ語 (ab)0102/ アヴェスター語 (ae)0105/ アフリカース語 (af)0106/ アカ
 ン語 (ak)0111/ アムハラ語 (am)0113/ アラゴン語 (an)0114/ アラビア語 (ar)0118/ アッサム語 (as)0119/
 アヴァール語 (av)0122/ アイマラ語 (ay)0125/ アゼルバイジャン語 (az)0126/ バシキール語 (ba)0201/ ベ
 ラルーシ語 (be)0205/ ブルガリア語 (bg)0207/ ビハール語 (bh)0208/ ビスラマ語 (bi)0209/ バンバラ語
 (bm)0213/ ベンガル語 (bn)0214/ チベット語 (bo)0215/ プルトン語 (br)0218/ ボスニア語 (bs)0219/ カタ
 ロニア語、バレンシア語 (ca)0301/ チェチェン語 (ce)0305/ チャモロ語 (ch)0308/ コルシカ語 (co)0315/
 クリー語 (cr)0318/ チェコ語 (cs)0319/ 古代教会スラブ語 (cu)0321/ チュバシ語 (cv)0322/ ウェールズ
 語 (cy)0325/ デンマーク語 (da)0401/ ドイツ語 (de)0405/ ディベヒ語、モルジブ語 (dv)0422/ ソンカ語
 (dz)0426/ エウエ語 (ee)0505/ ギリシャ語 (el)0512/ 英語 (en)0514/ エスペラント語 (eo)0515/ スペイン
 語、キャステリヤ語 (es)0519/ エストニア語 (et)0520/ バスク語 (eu)0521/ ペルシア語 (fa)0601/ フラ語
 (ff)0606/ フィンランド語 (fi)0609/ フィジー語 (fj)0610/ フェロー語 (fo)0615/ フランス語 (fr)0618/ フ
 リジア語 (fy)0625/ アイルランド語 (ga)0701/ ゲール語、スコットランドゲール語 (gd)0704/ ガリシア語
 (gl)0712/ ガアラニ語 (gn)0714/ グジャラート語 (gu)0721/ マン島語 (gv)0722/ ハウサ語 (ha)0801/ ヘ
 ブライ語 (he)0805/ ヒンディー語 (hi)0809/ ヒリ・モトゥ語 (ho)0815/ クロアチア語 (hr)0818/ ハイチ語、
 ハイチクレオール語 (ht)0820/ ハンガリー語 (hu)0821/ アルメニア語 (hy)0825/ ヘレロ語 (hz)0826/ イン
 ターリングア、国際語 (ia)0901/ インドネシア語 (id)0904/ インターリング、オクツイデンタル (ie)0905/ イ
 ポ語 (ig)0907/ 四川彝語 (シセンイ語)、ロロ語 (ii)0909/ イヌピアック語 (ik)0911/ イド語 (io)0915/ ア
 イスランド語 (is)0919/ イタリア語 (it)0920/ イヌクティトゥット語 (iu)0921/ 日本語 (ja)1001/ ジャワ語
 (jv)1022/ グルジア語 (ka)1101/ コンゴ語 (kg)1107/ キクユ語 (ki)1109/ クワニヤマ語 (kj)1110/ カザフ語
 (kk)1111/ グリーンランド語 (kl)1112/ クメール語、カンボジア語 (km)1113/ カンナダ語 (kn)1114/ 韓国語、
 朝鮮語 (ko)1115/ カヌリ語 (kr)1118/ カシミア語 (ks)1119/ クルド語 (ku)1121/ コミ語 (kv)1122/ コー
 ンウォール語 (kw)1123/ キルギス語 (ky)1125/ ラテン語 (la)1201/ ルクセンブルグ語 (lb)1202/ ガンダ語
 (lg)1207/ リンブルフ語、リンブルグ語 (li)1209/ リンガラ語 (ln)1214/ ラーオ語、ラオス語 (lo)1215/ リト
 アニア語 (lt)1220/ ルバ語、ルバカタンガ語 (lu)1221/ ラトビア語 (lv)1222/ マダガスカル語 (mg)1307/ マー
 シャル語 (mh)1308/ マオリ語 (mi)1309/ マケドニア語 (mk)1311/ マラヤーラム語 (ml)1312/ モンゴル語
 (mn)1314/ マラティー語 (mr)1318/ マレー語 (ms)1319/ マルタ語 (mt)1320/ ビルマ語 (my)1325/ ナウル
 語 (na)1401/ ブークモール・ノルウェー語 (nb)1402/ 北ンデベレ語 (nd)1404/ ネパール語 (ne)1405
 ンドンガ語 (ng)1407/ オランダ語、フランドル語 (nl)1412/ ニーノシユク・ノルウェー語 (nn)1414/ ノ
 ルウェー語 (no)1415/ 南ンデベレ語 (nr)1418/ ナバホ語 (nv)1422/ チェワ語、ニャンジャ語 (ny)1425/
 オック語、プロバンス語 (oc)1503/ オジブワ語 (oj)1510/ オロモ語 (om)1513/ オリヤー語 (or)1518/ オ
 セット語 (os)1519/ パンジャブ語 (pa)1601/ パーリ語 (pi)1609/ ポーランド語 (pl)1612/ バシウトー語
 (ps)1619/ ポルトガル語 (pt)1620/ ケチュア語 (qu)1721/ ロマンシュ語 (rm)1813/ ルンディ語 (rn)1814/
 ルーマニア語、モルダビア語、モルドバ語 (ro)1815/ ロシア語 (ru)1821/ キニヤルワンダ語 (rw)1823/ サ
 ンクリット語 (sa)1901/ サルデーニャ語 (sc)1903/ シンド語 (sd)1904/ 北サーミ語 (se)1905/ サンゴ
 語 (sg)1907/ シンハラ語 (si)1909/ スロバキア語 (sk)1911/ スロベニア語 (sl)1912/ サモア語 (sm)1913/
 ショナ語 (sn)1914/ ソマリ語 (so)1915/ アルバニア語 (sq)1917/ セルビア語 (sr)1918/ シスワティ語
 (ss)1919/ 南ソト語 (st)1920/ スンダ語 (su)1921/ スウェーデン語 (sv)1922/ スワヒリ語 (sw)1923/ タミ
 ル語 (ta)2001/ テルグ語 (te)2005/ タジク語 (tg)2007/ タイ語 (th)2008/ ティグリニャ語 (ti)2009/ トル
 クメン語 (tk)2011/ タガログ語 (tl)2012/ ツワナ語 (tn)2014/ トンガ語 (to)2015/ トルコ語 (tr)2018/ ツォ
 ンガ語 (ts)2019/ タタール語 (tt)2020/ トウイ語 (tw)2023/ ニヒチ語 (ty)2025/ ウィグル語 (ug)2107/ ウ
 クライナ語 (uk)2111/ ウルドゥー語 (ur)2118/ ウズベク語 (uz)2126/ ウェンダ語 (ve)2205/ ベトナム語
 (vi)2209/ ボラビュク語 (vo)2215/ ワロン語 (wa)2301/ ウォロフ語 (wo)2315/ コーサ語 (xh)2408/ イディッ
 シュ語 (yi)2509/ ヨルバ語 (yo)2515/ 壮語 (チワン語) (za)2601/ 中国語 (zh)2608/ スルー語 (zu)2621
 * 言語表記は ISO639:1988 (E/F) に準拠 (1999年9月現在)

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(⇒「その他」113ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

●共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(⇒「電源コードを接続する」90ページ)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。(⇒「電源コードを接続する」90ページ)
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り換えてください。(⇒「リモコンの準備」10ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。(⇒「リモコンの準備」10ページ)
	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
ディスクを再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。(⇒「使用上の注意」105ページ)
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。(⇒「基本的な操作」16ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」55ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(⇒「電源コードを接続する」90ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」55ページ、59ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。(⇒「前後左右の音量バランスを調節する」55ページ、59ページ)
ⓧ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上、対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	リモコンの(■)ボタンを押してからもう一度、再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかりと固定してください。
画面がのびる。アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。

●内蔵 DVD : DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 (⇒「視聴制限を設定する」76 ページ)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 (⇒「視聴制限を設定する」76 ページ)
	暗証番号を忘れてしまった。	◎ ボタンを 10 回押して、暗証番号を解除してください。 (⇒「視聴制限を設定する」77 ページ)
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていない DVD を再生している。	字幕が収録されていない DVD では、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	DVD の設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	DVD の設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えできません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスクの再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている（ディスクによって入っている場合があります）。	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

●内蔵 DVD : ビデオ CD

症状	原因	処置
PBC のメニュー画面を呼び出せない。	PBC 機能の付いていないビデオ CD を再生している。	PBC 機能の付いていないビデオ CD では操作できません。
リピート再生、トラックサーチができない。	PBC 機能付きのビデオ CD を再生している。	PBC 機能付きビデオ CD を再生しているときは、操作できません。

●内蔵 DVD : CD、WMA / MP3 / AAC

症状	原因	処置
CD 再生中、大きな雑音が出る。CD の再生が途中で止まる。CD を再生できない。	CD に大きなキズやソリがある。	ほかの CD に交換してください。良くなれば、CD の不良です。
	CD が極端に汚れている。	CD の汚れをふき取ってください。 (⇒「使用上の注意」105 ページ)
	CD にくもりや水滴が付いている。	CD のくもりや水滴をふき取ってください。 (⇒「使用上の注意」105 ページ)
	CD の裏表を逆にしてセットしている。	CD のタイトル面を上にしてセットしてください。 (⇒「内蔵 DVD のふだんの操作」17 ページ)

●ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ)
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (⇒「ラジオのふだんの操作」18ページ)

●「DEQ-P9」接続時

症状	原因	処置
スピーカーの調節ができない。	スピーカーのサイズ設定が OFF になっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)
タイムアライメントを調節できない。	リスニングポジションの設定が間違っている。	リスニングポジションを正しく設定してください。 (⇒「リスニングポジションを選ぶ」59ページ)
	スピーカーのサイズ設定が OFF になっている。	接続しているスピーカーのサイズを正しく設定してください。 (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)
サブウーファースの位相が切り換えられない。	サブウーファースの設定が OFF になっている。	サブウーファースの設定を ON にしてください。 (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)
低音域が聞こえない。	サブウーファースの設定が OFF で、それ以外のスピーカーのサイズ設定が OFF や SML になっている。	正しく設定してください (サブウーファースを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーのサイズ設定は、LRG にしてください)。 (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)
ドルビープロロジック II を ON にすると、音が出ないときがある。	センタースピーカーを接続していない状態で、センタースピーカーのサイズ設定を SML や LRG にしている。	センタースピーカーのサイズ設定を OFF にしてください。(モノラル音声の場合、ドルビープロロジック II を ON にすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。) (⇒「接続したスピーカーの設定をする」65ページ)
センタースピーカー以外のスピーカーから音が出ないときがある。	ドルビープロロジック II が ON になっている。	ドルビープロロジック II を OFF にしてください (モノラル音声の場合、ドルビープロロジック II を ON にすると、センタースピーカーだけから音が出力されます。) (⇒「ドルビープロロジック II を使う」59ページ)
ダイナミックレンジコントロールを ON にしても効果がない。	再生しているソースがドルビーデジタル音声ではない。	ドルビーデジタル音声だけに有効な機能です。
DVD の音だけ出ない。	光デジタルケーブルが外れている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。(⇒「DEQ-P9 + AVIC-HRV200 と組み合わせる」92ページ)
光デジタル入力 1 または光デジタル入力 2 に接続したソースの音が出ない。	光デジタル入力 1 (OPT.IN1) と光デジタル入力 2 (OPT.IN2) が逆に接続されている。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。(⇒「DEQ-P9 + AVIC-HRV200 と組み合わせる」92ページ)
	光デジタル入力に接続した製品のソースが光デジタル信号に対応していない。	光デジタルに対応した製品かどうか確認してください。 (「DEQ-P9」の「取扱説明書」)

こんなメッセージが表示されたら

●内蔵 DVD のエラーメッセージ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-02-XX」	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふき取ってください。(➡「使用上の注意」105 ページ)
	ディスクにキズやひびがある。	ディスクを交換してください。
「HEAT」, 「THERMAL PROTECTION IN MOTION」	ディスクの裏表を逆にしてセットしているとき。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「NON-PLAY」, 「UNPLAYABLE DISC」	本機では再生できないディスク (DVD AUDIO など) を使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。
「REGION ERR」, 「DIFFERENT REGION DISC」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含む DVD に交換してください。
「PROTECT」, 「NO ACCESSIBLE DATA AVAILABLE」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	ディスクを交換してください。
「SKIPPED」, 「FILE SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
「WRITE FAIL」, 「CAN NOT SAVE DATA」	視聴回数制限付きの DivX ファイル再生時に、ファイル情報を書き込めなかった。	再生を停止するか、他のファイルを選択してください。
「NON-PLAY」, 「FILE NOT PLAYABLE-HIGH DEF」	高解像度の DivX [®] ファイルが収録されたディスクを挿入したとき。	本機では、DivX HD ファイルは再生できません。本機で再生できるファイルが収録されたディスクを挿入してください。
「EXPIRED」, 「Rental Expired」	DivX [®] VOD ファイルの視聴回数制限をオーバーしている。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
「ERROR」, 「AUTHORIZATION ERROR」	DivX [®] VOD ファイルの認証ができていない。	DivX [®] VOD ファイルをダウンロードする前に、ファイルの配信元へ登録コードの認証を行ってください。(➡「DivX VOD の登録コードを確認する」78 ページ)



メモ

- マルチ CD 再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチ CD の取扱説明書をご覧ください。

●USB のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	USB コネクターまたは USB ケーブルがショートした。	USB コネクター / USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
	規定 (➡「おもな仕様」116 ページ) 以上の電流を消費する USB 機器を接続した。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。
「N/A USB」, 「INCOMPATIBLE DEVICE」	接続された USB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応の USB 対応する機器を接続してください。
	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 か FAT16 ではない。	フォーマットが、FAT32 か FAT16 の USB 機器を接続してください。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「NON-PLAY」、 「UNPLAYABLE FILE」	何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存された USB 機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。	USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
	本機で再生できない形式のファイルを選んだ。	再生できるファイルを選んでください。
「PROTECT」、 「NO ACCESSIBLE DATA AVAILABLE」	USB 機器内のすべての WMA ファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
「SKIPPED」、 「FILE SKIPPED」	Windows Media DRM 9 / 10 で保護された WMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
「ERROR-02-DX」	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にする。 ● 接続した USB 機器を一度外してから接続する。 ● 別のソースに切り換える。

● iPod のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-02-6X」	正常に通信できない。	コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
	iPod に問題が発生した。	iPod をリセットしてください。
「ERROR-02-67」	iPod ソフトウェアのバージョンが古い。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
「STOP」	iPod に曲が入っていない。	iPod に曲を転送してください。
	選んだプレイリストに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。

●オートイコライジングのエラーメッセージ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-MIC」	マイクが接続されていない。	音響特性測定用マイクをきちんと差し込んでください。 (→「オートタイムアライメント&イコライジングを行う」64 ページ)
「ERROR-FSP」 「ERROR-FLSP」 「ERROR-FRSP」 「ERROR-CSP」 「ERROR-RSP」 「ERROR-RLSP」 「ERROR-RRSP」 「ERROR-SW」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。 (→「電源コードを接続する」90 ページ)
「ERROR-NOIS」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。 なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 なるべく静かなところに車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 音響特性測定用マイクを正しくセットしてください。

保証書とアフターサービス

商標・著作権など

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●著作権について

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

● iPod & iPhone



「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

● DOLBY



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

● DivX®



DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは 4 : 3 ですが、ワイドモニターは 16 : 9 の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

ダイナミックレンジコントロール

ドルビーデジタルには音の強弱の幅を圧縮する機能があります。この機能がダイナミックレンジコントロールです。ダイナミックレンジの広い音声を小さな音量で聞く場合でも、良好な聴感が得られるようにコントロールします。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大 5.1 チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビープロロジック II

ドルビープロロジック II は、2 チャンネル信号を 5.1 チャンネルに拡張できます。CD のような通常のステレオ音楽でも立体音場効果、包囲感、より明確な定位感を実現します。

パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-R などに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きいほうが良い音となります (MP3 と ATRAC3 のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません)。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオ CD (バージョン 2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

DVD には、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVD ビデオや DivX の中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVD や DivX では、音声を最大 8 言語 (8 ストリーム) まで記録することができ、その中から好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVD や DivX では、1枚のディスク (1つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVD では最大 32 言語まで、DivX では最大 8 言語まで記録でき、その中から好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョン番号) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です (本体底面に表記されています)。

リニア PCM (LPCM)

音楽 CD に用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽 CD では、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVD では、48kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bit で記録されているため、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の 1 つです。この数が大きいほど、音質が良くなります。ただし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズも大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

DivX

DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高音質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。

DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。

DivX Certified

DivX Certified 製品は、DivX のクリエイターによって、対応したバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示します。

DTS

「Digital Theater Systems」の略です。DTS は、サラウンドシステムで、最大 6 チャンネルの独立したサラウンドオーディオを提供します。

ID3 Tag

曲の関連情報を MP3 ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容は ID3 Tag 編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROM のファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル 1

ファイル名は、8.3 形式 (名前は半角英大文字と半角数字、"." で 8 文字以下、拡張子は 3 文字) で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

レベル 2

ファイル名は、最大 31 文字 (区切り文字、"." と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は 8 つ以下

拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で 64 文字

Romeo :

ファイル名は、最大で 128 文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (M PEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

MPEG

「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVD は、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

VBR (バイビークール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的には CBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VR モード

「Video Recording (ビデオレコーディング)」の略です。DVD-RW の基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。また、部分消去などの編集もできます。

WMA

「Windows Media™. Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

おもな仕様

●共通部

使用電源：	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
最大消費電流：	10.0 A
外形寸法	(取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 163 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 23 (D) mm
質量：	1.2 kg (コード含まず)

●アンプ／オーディオ部

最大出力：	50 W × 4
定格出力：	22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz、5 % THD)
負荷インピーダンス：	4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)
プリアウト最大出力レベル：	2.0 V
インピーダンス：	1 k Ω
トーンコントロール	(バス)周波数：100 Hz ゲイン：± 12dB (ミッド)周波数：1 kHz ゲイン：± 12dB (トレブル)周波数：10 kHz ゲイン：± 12dB

●DVD プレーヤー部

形式：	DVD ビデオ、DVD-VR、DivX、ビデオ CD、CD、WMA、MP3、AAC、JPEG
リージョン番号：	2
使用ディスク：	DVD ビデオ、ビデオ CD、CD、dts CD、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RDL、DVD-RW
S/N 比：	97 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク) 96 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク) : CD
チャンネル数：	2 (ステレオ)
DivX デコーディングフォーマット：	Home Theater Ver. 3、4、5.2 (.avi .divx)
WMA デコーディングフォーマット：	Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch audio) (Windows Media Player)
MP3 デコーディングフォーマット：	MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3
AAC デコーディングフォーマット：	MPEG-4 AAC (Ver. 9.0.3 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)

●USB 部

USB 規格 :	USB 2.0 Full Speed
最大供給電流 :	500 mA
USB クラス :	マスストレージクラス
ファイルシステム :	FAT16、FAT32
WMA デコーディングフォーマット :	Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch audio) (Windows Media Player)
MP3 デコーディングフォーマット :	MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3
AAC デコーディングフォーマット :	MPEG-4 AAC (Ver. 9.0.3 以前の iTunes でエンコードされた楽曲)

●FM チューナー部

受信周波数帯域 :	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
実用感度 :	9 dBf (0.8 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N : 30 dB)
S/N :	72 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 :	0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ) 0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性 :	30 Hz ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオセパレーション :	45 dB

●AM チューナー部

受信周波数帯域 :	522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)
実用感度 :	25 μ V (S/N : 20 dB)
S/N :	62 dB (IHF-A ネットワーク)

●付属品

コードユニット :	1 式
ビデオコード	1
取付ネジ類 :	1 式
取扱説明書 :	1
リモコン :	1
リチウム電池 (CR2025) :	1
安全上のご注意 :	1
保証書 :	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 :	1
お客様登録のお願い :	1

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる【F】フリーコールおよび【☎】フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 【F】 0120-944-111 【一般電話】 044-572-8101

ファックス 044-572-8103

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【F】 0120-5-81028 【一般電話】 044-572-8100

ファックス 【F】 0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 098-987-1120

ファックス 098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【F】 0120-5-81095 【一般電話】 044-572-8107

ファックス 【☎】 0120-5-81096

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.041

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号 <KKMZ> <10J00000 > <QRA3014-A/N>

© パイオニア株式会社 2010